

教 育 委 員 会 議 事 録

(令和6年度 教育委員会 第2回臨時会)

開会 令和6年7月19日(金)

閉会 令和6年7月19日(金)

午後2時00分

午後4時48分

場所 西宮市役所6階教育委員会会議室

出席委員	教育長 藤岡 謙一 委員 側垣 一也 委員 長岡 雅美 委員 藤原 唯人 委員 山本 幸夫	欠席委員		
会議に出席した職員	職	氏名	職	氏名
	教育次長	藤井 和重	西宮高校教科用図書選	油井 光伸
	教育次長	漁 修生	定委員会委員長	
	教育総括室長	薩美 征夫	西宮東高校教科用図書	中村 みはる
	参与(人事担当)	柏木 弘至	選定委員会委員長	
	学校支援部長	岡崎 州祐	西宮支援学校教科用図	原田 綾女
	学校教育部長	秦 淳也	書選定委員会委員長	
	教育総務課長	伊藤 昭夫	義務教育諸学校教科用	都志 啓二
	学校教育課長	桑原 美和	図書選定委員会委員長	
署名	教育長		委員	

付 議 案 件

<議 題>

- (審)議案第28号 令和7年度使用西宮市立高等学校及び西宮支援学校
教科用図書採択の件 [学校教育課]
- (審)議案第29号 令和7年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件 [学校教育課]

以 上

傍 聴

14名

藤岡教育長	<p>それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和6年度 第2回 教育委員会臨時会を開催いたします。</p> <p>議事録署名委員には、長岡委員を指名させていただきます。</p> <p>ここで、各委員に確認をいたします。</p> <p>本日は傍聴希望者が14名おられます。会議は公開が原則であり、本日の案件については非公開とする理由がないため、全て公開としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、異議なしと認め、全て公開といたします。</p> <p>それでは、事件表の順に審議を進めていきたいと思えます。</p> <p>まず、議案第28号「令和7年度使用西宮市立高等学校及び西宮支援学校教科用図書採択の件」を議題といたします。</p> <p>では、学校教育課長。</p>
学校教育課長	<p>初めに、教科書展示会について報告をさせていただきます。</p> <p>6月25日から6月30日までは西宮北口図書館にて、7月2日から7月9日までは総合教育センターにて、法定期間14日間、教科書展示会を開催いたしました。14日間で234名の来会がございました。アンケートの意見は150件ございました。事務局で集約したものを参考資料として添付しております。</p> <p>教科書については、数年前、他府県において教科書発行者が検定中の教科書を教員らに見せて謝礼を渡したり、自社の教科書を採択した高校に無償で教材を提供したりするなど、不適切な事案が発覚し、大きな問題となりました。</p> <p>事務局としては、選定委員会や調査委員会にて具体的事例を挙げて注意喚起することをはじめ、文部科学省による通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」を4月8日付で全ての市立学校に送付するとともに、校長会議にて各校での周知及び指導を依頼し、市内の全教職員に公正確保の徹底を図ってまいりました。</p> <p>西宮高校、西宮東高校、西宮支援学校の教科書につきましては、各校で設置された選定委員会において教科書を選定いたしました。この後、各選定委員会委員長より採択申請いたします。</p>
藤岡教育長	<p>それでは、西宮高校選定委員会よりご説明をお願いします。</p>

西宮高校教科用 図書選定委員会 委員長	<p>選定委員会を代表して、令和7年度に使用する教科用図書採択について申請します。</p> <p>最初に、申請に至るまでの経緯について報告します。</p> <p>5月15日の教育委員会会議において議決された、令和7年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針に基づき選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針を1、本校の教育課程に照らし、指導上適切なものであること。2、教材の分量、配分、設問等が学習に効果的であること。3、本校生徒の学習能力に適応したものであること。と決めました。</p> <p>この基準に則って、各教科を中心に専門的な見地から調査研究を進めました。</p> <p>具体的には、本校の生徒の学習がどれくらい定着しているのかというふうなことを踏まえまして、本校の生徒については、基礎的な学力は身につけているというふうに認識されますので、基本的な内容を応用したり、より深い学びへとつなげたりするための教材を中心に選出、検討いたしました。</p> <p>また、主体的・対話的で深い学びに代表されますように、生徒の探究活動につながるような、そういう活動を進めやすい教科書を中心に検討してまいりました。</p> <p>その上で、各教科の代表、管理職、保護者、学識者から構成する選定委員会を6月21日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。</p> <p>その結果は、採択申請書の5ページから24ページに記載しています。</p> <p>本校には、普通科とグローバル・サイエンス科がありますので、2種類の申請書を用意しております。</p> <p>普通科についての申請書は、6から8ページになります。申請する教科書を全て記載しておりますので、ご覧ください。</p> <p>一番右の選定理由の欄が空欄の教科書は、今年度使っているものと同じ教科書を申請しています。</p> <p>選定理由の欄に文章表記のある教科書は、今年度使用しているものから教科書を変更したのになります。</p> <p>変更した教科書だけを見やすく整理したものが、9ページの選定理由報告書となります。</p> <p>なお、参考資料として10から15ページに前年度対比資料も添付しております。10ページをご覧ください。</p> <p>右側が今年度（令和6年度）使用している教科書となっております。左側が来年</p>
---------------------------	---

	<p>度（令和7年度）に使用したいと考えている教科書です。</p> <p>グレーの塗り潰しになっているものは、今年度に当該生徒が既に使用している教科書を進級しても引き続き使用する予定のもので、今回の採択の対象外です。</p> <p>黒の塗り潰しに白文字で記載されているものは、前年度から使用している教科書を変更したものです。</p> <p>白地に黒文字で記載されているものは、来年度も今年度と同じ教科書を選定しているものです。</p> <p>それでは、9ページをご覧ください。</p> <p>No. 3の歴史総合については、知識・理解の記述と判断を求める問いの配分や、世界史と日本史の比率のバランスが適切であることや、副教材の準拠ノートが見やすく使いやすいこと等から、帝国書院の教科書を選定しました。</p> <p>No. 12の英語コミュニケーションⅠについては、題材がバラエティーに富んでおり、生徒の関心を引く内容であることや、リスニングやリテリングなどのアクティビティーが充実しており、4技能をバランスよくつけられるように構成された教材であること、さらに、補助プリントやスライドなどの周辺教材データが充実しており使いやすいことから、桐原書店の教科書を選定しました。</p> <p>No. 32の英語コミュニケーションⅡについては、学習後にも生徒たちが対話しやすい題材が取り上げられていることや、レッスンごとに4技能を伸ばす活動が充実していること、さらに、ワークシートやパワーポイント資料なども大変充実しており授業展開がしやすいことなどから、いいずな書店の教科書を選定しました。</p> <p>続いて、グローバル・サイエンス科の申請書及び参考資料は、16から24ページとなります。普通科の申請書と同様の形式で記載しています。</p> <p>変更した教科書だけを見やすく整理したものが、19ページの選定理由報告書となります。</p> <p>グローバル・サイエンス科で変更した教科書につきましては、普通科でも選定した教科書と同じものとなりますので、選定理由については説明を省略させていただきます。</p> <p>報告は以上です。ご審議よろしく申し上げます。</p> <p>藤岡教育長 続いて、西宮東高校選定委員会よりご説明をお願いいたします。</p> <p>西宮東高校教科 選定委員会を代表して、令和7年度に使用する教科用図書採択について申請しま</p>
--	---

用図書選定委員会委員長	<p>す。</p> <p>最初に、申請に至るまでの経緯について報告します。</p> <p>5月15日の教育委員会会議において議決された、令和7年度使用西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針に基づき選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針を1、学習指導要領の内容に従い、本校のスクールポリシーを十分に考慮し、教育課程実施上最適である選定を行う。2、教科ごとに教科書記述内容を研究し、さらに西宮市高等学校スクール・ミッションを参考に総合的見地から選定を行う。3、各教科から推薦のあった教科書を本校教科書選定委員会において再検討を加えて公正を期すると決めました。</p> <p>この基準に則って、各教科を中心に専門的な見地から調査研究を進めました。</p> <p>具体的には、本校に入学してくる生徒の基礎的な学力は年々高くなり、多くの生徒が難関大学の進学を希望しております。そこで、高度な発展事項が含まれていて、生徒の進路実現をかなえるレベルのものであること、基本的な内容を応用したり、より深い学びへとつなげたりするための教材が充実した教科書を中心に検討しました。</p> <p>また一方、知識の伝達にとどまるのではなく、生徒自身の探究活動を大切にしておりますので、そのような活動を進めやすい教科書としても検討いたしました。</p> <p>その上で、各教科の代表、管理職、保護者、学識者から構成する選定委員会を6月10日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。</p> <p>その結果は、採択申請書の25から31ページに記載しています。申請書の見方については、西宮高校と同様であります。</p> <p>なお、参考資料として、32から34ページに前年度対比資料も添付しております。</p> <p>26から29ページには、申請する教科書を全て記載しています。</p> <p>それでは、30ページをご覧ください。</p> <p>No. 4の公共については、学習指導要領の学習項目が体系的かつ論理的に網羅され、大学入試にも対応できる内容が扱われていることや、本文の分量や内容、図・写真の数や配置などのバランスが取れていること、さらに、各節の最初に課題が設けられ、指導上、学習上の着眼点が明確であり、問題意識を持って学習に取り組むことができるという点などから、第一学習社の教科書を選定しました。</p> <p>No. 23の世界史探究については、各編や章の冒頭をはじめ、本文の記述と密接に関連する多種多様な写真や図版が掲載されており、生徒の興味、関心を喚起</p>
-------------	--

	<p>し、歴史事象の理解を促す観点からも極めて効果的であることや、多様なコラム及び世紀の世界、資料で深める歴史の世界などの特設ページが設けられており、生徒の学習意欲を高め、豊かな歴史的思考力を養う工夫が施されている点などから、東京書籍の教科書を選定しました。</p> <p>No. 32の論理・表現Ⅱについては、デジタル教材が大変充実していることや、補助教材が豊富で使いやすく、様々な角度から生徒に活動や課題を課すことができる点などから、数研出版の教科書を選定しました。</p> <p>No. 37の論理・表現Ⅲについては、導入、定着、発展の構成が分かりやすく、表現を身につけるための活動が多く含まれていることや、導入では、活動の基礎となるアイデア、情報及び重要文法事項を含んだ会話やパラグラフで学ぶことができ、定着では、テーマに沿った資料でインプットとアウトプット活動ができ、発展では、様々な形式の自由英作文に対応したトピックで発信活動を行うことができる点などから、いづな書店の教科書を選定しました。</p> <p>報告は以上です。ご審議よろしくお願いたします。</p>
藤岡教育長	<p>では、続きまして西宮支援学校選定委員会よりご説明をお願いいたします。</p>
西宮支援学校教科用図書選定委員会委員長	<p>選定委員会を代表して、令和7年度に使用する教科用図書採択について申請します。</p> <p>最初に、申請に至るまでの経緯について報告します。</p> <p>5月15日の教育委員会会議において議決された、令和7年度使用西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針に基づき選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針を、1. 西宮市教育委員会の採択に関する基本方針に従い、最も適切な教科書を選ぶ。2. 小・中・高の一貫性や教材の系統性を十分に考慮して適切なものを選ぶ。3. 各教科の主たる教材として、目標達成に適したものを選ぶと決めました。</p> <p>この基準に則って、各教科の教科書について専門的な見地から調査研究を進めました。</p> <p>特別支援学校の場合、特に、個々の児童によって障害の状況等も様々ですので、一人一人の児童生徒について確認しながら調査研究を進めました。</p> <p>その上で、各教科、各学年の代表、管理職、保護者、学識者から構成する選定委員会を6月19日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。</p>

なお、一般図書につきましては、次年度の一般図書契約予定一覧が、例年12月頃に公表されますが、その際に採択したものが廃版等の理由により供給不能となる場合があります。そこで、今回より複数冊を選定し、このような事態に対応することといたしました。

35ページ以降に小学部、中学部、高等部の順で記載しております。

36から45ページが、小学部についての採択申請書となります。小学部では、国語、算数、生活について一般図書を選んでいきます。

36ページにありますように、それ以外の教科では、小学校、義務教育学校前期課程で採択された検定教科書を使用いたします。

西宮支援学校では、授業形態として、学年の児童生徒全員で集団学習をする授業と、障害の状態等によってグループ等に分かれて個別に学習する授業を併用しています。集団学習の場合でも、補助の教員がつきながら個々の児童生徒の状況に応じた指導をしています。今回選定したこれらの図書は、集団学習の形態の授業での使用を想定しております。

なお、小学部1年生については、来年度入学してくる児童の詳細な状況が分からないため、例年、検定教科書を採用しており、来年度も同様の方針であるため、一般図書としては1冊も報告に上げておりません。

次に、37ページをご覧ください。

これ以降、小学部で採択した一般図書を掲載しております。

新たに採択したものにつきましては、選定理由を書かせていただいております。

採択数が多くなっておりますので、この中の幾つかにつきまして報告させていただきます。

まず、37ページ、1番、生活。小学部の2年、3年、5年、6年が使用します。身近なものや仕事、家事について分かりやすい絵や写真を用いて説明されており、ほかの教科の学習にも応用することができる。毎日の生活について、食べる、着る、暮らすの3つの観点で分け、手順が分かりやすく書かれている。このような点などから選定いたしました。

次に、7番、算数。小学部2年生「あかまるちゃんとくろまるちゃん」。

丸の形を追いながら、いろいろなものの中に形があることに気づかせることができることやかわいらしいイラストで、子供たちにも親しみやすいことなどから選定いたしました。

次に、38ページに移ります。

10番、国語。小学部3年と6年が使用します「てぶくろ」。

動物が1匹ずつ増えていく繰り返しのある展開と、最後の終結の仕方がシンプルで話の筋を理解しやすく、また、ペープサートや劇などの教材の工夫がしやすく、登場人物の置かれた状況や心情を楽しく追体験することができるため選定いたしました。

13番、算数。小学部3年で使用いたします。お話は「ねこのピートだいすきなしろいくつ」です。

お話を楽しみながら、色に触れることができることや、絵本に楽譜がついており、音楽を取り入れることで繰り返し耳にすることで、覚えやすいため選定いたしました。

飛びまして、24番、生活。小学部5、6年「絵でわかるこどものせいかつずかん1 みのまわりのきほん」。

親しみやすいイラストで身辺自立、身辺整理について学ぶことができるため選定いたしました。

次のページ39ページに移ります。

36番、算数。小学部5年「とけいつきしかけえほん ピーターいまなんじ?」。かわいらしい絵柄で、児童の興味や関心を引き出しやすいため選定しました。

次に、46ページをご覧ください。

中学部についての採択申請となります。中学部では、国語、社会について一般図書を選んでおります。各学年全員が同じ図書を選んでいきます。

理科については、下学年の検定教科書を使用します。数学については、文部科学省による著作本、いわゆる星本を使用します。それ以外の教科では、中学校、義務教育学校後期課程で採択された検定教科書を使用する予定です。

No. 1の理科「わくわく理科3」及びNo. 2の「わくわく理科4」については、カラーの写真や絵が多くページで使われており、生徒が興味を持ちやすく、内容を理解しやすい点や、身近な自然の事象、現象を追究する中で、主体的に問題を解決する力を育成することができる点などから選定しました。

次に、47ページをご覧ください。

これ以降、中学部で採択した一般図書を掲載しております。小学部同様、新たに採択したものにつきましては、選定理由を書かせていただいております。

この中の幾つかにつきまして報告をさせていただきます。

No. 5の社会「しごとば」については、新幹線の運転士や美容師、歯科医など、複数の仕事について、その職場の雰囲気や置いてある道具がイラストで紹介され、興味を持って学習に臨みやすい点などから選定いたしました。

№. 10の社会「ドラえもんちずかん1 につぼんちず」については、地域ごとの名産や特色が絵と写真で紹介されており、分かりやすい点などから選定いたしました。

№. 15の社会「ドラえもんちずかん2 せかいちず」については、世界各国の名産や特色が絵と写真で紹介されていて分かりやすい点や、食事や衣服などのテーマごとに紹介されているページがあり、比較しやすい点などから選定いたしました。

また、49ページ、50ページの参考資料は、新たに採択した図書についての情報を掲載しております。

次に、51ページをご覧ください。

高等部についての採択申請書となります。51ページは、今回申請している検定教科書についての申請となります。

№. 5の理科「わくわく理科5」及び№. 6「わくわく理科6」については、中学部からの系統立てた理科の学習を充実させるため選定いたしました。また、紙面にあるQRコードをタブレットで読み取ることで、ICTを活用した学習につながることや、カラーの写真や絵が多くページに使用され、視覚支援が充実され、生徒が興味、関心を持ちやすい点などから選定しました。

53ページをご覧ください。

53ページには、一般図書について選定したものを記載しています。

№. 2の国語「子ども版声に出して読みたい日本語6 春はあけぼの祇園精舎の鐘の声」については、伝統的な暗誦文化を簡単に読むことができるため、言語感覚を身につけることが期待できる点や、古典から現代の著名な文学作品が多く掲載されており、言葉や作品が持つ美しいリズムや語感が味わえる点などから選定しました。

また、54ページ、参考資料は、新たに採択した図書についての情報を記載しております。

報告は以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。

藤岡教育長

ありがとうございました。

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

本件のご意見、ご質問はありませんでしょうか。よろしいですか。

では、なければ採決に入ります。

議案第28号については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

藤岡教育長	<p>(異議なし)</p> <p>ご異議なしと認めます。よって本案は可決されました。</p> <p>続きまして、議案第29号「令和7年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件」を議題といたします。</p> <p>それでは、選定委員会より説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>初めに、経過報告をいたします。</p> <p>5月15日の教育委員会定例会において、令和7年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針を決定いただいた後、5月22日に第1回選定委員会を開催いたしました。</p> <p>その中で、令和7年度使用義務教育諸学校教科用図書選定委員会報告方針を決定するとともに、本年度は中学校教科用図書の採択替えに当たるため、調査員を置いて調査研究を行うことを確認いたしました。また、特別支援学級用の一般図書についても調査員会を設置し、調査研究を行うことを確認いたしました。</p> <p>調査員につきましては、義務教育諸学校教科用図書選定委員会運営要領に従い、社会科16名、国語科、数学科、理科、外国語科10名、音楽科7名、美術科7名、技術・家庭科7名、保健体育科7名、特別の教科道徳5名、特別支援学級用の一般図書の調査員5名で構成いたしました。</p> <p>なお、調査員については、各学校から校長が推薦し、選定委員会から委嘱をいたしました。</p> <p>5月27日に第1回調査員会を開催し、採択方針と調査研究についての説明、教科書採択に係る公正確保等について確認し、調査研究を始めました。</p> <p>その後、調査員会による調査研究を行い、6月27日に第2回選定委員会を、7月4日に第3回選定委員会を開催いたしました。各調査員代表から調査結果の報告及び聴取を行い、報告書の加筆修正等を行い、本日の報告書を作成いたしました。</p> <p>なお、公正確保につきまして、調査研究が静ひつな環境の中で公正・公平な立場で行われたことを併せてご報告いたします。</p> <p>次に、本日の報告書の概要についてご報告いたします。</p> <p>報告書には、中学校、義務教育学校後期課程教科用図書の調査報告、特別支援学級用一般図書の調査報告の2種類の調査報告がございます。</p>

	<p>中学校、義務教育学校後期課程教科用図書の調査報告につきましては、報告書の3から31ページに記載しております。</p> <p>報告方針の中で設定した特別の教科道徳以外の教科については11観点について、特別の教科道徳については12観点について、発行者ごとに特徴を文章表記しています。</p> <p>観点の一つであるカラーユニバーサルデザインにつきましては、第1回調査員会の中で、色弱の方の見え方を模擬体験する眼鏡を会場に用意し、調査の視点として捉えてもらうようにいたしました。</p> <p>調査結果といたしましては、報告書にも記載しておりますが、各教科、どの発行者でも配慮がされておりました。教科書の裏表紙や教科書編集趣意書にカラーユニバーサルデザインへの配慮について、全ての発行者で記載がございました。</p> <p>特別支援学級用一般図書の調査報告につきましては、報告書の33から41ページに記載しています。後ほど報告をさせていただきます。</p> <p>以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここで議案第29号の議事の進行について確認したいと思います。</p> <p>採択の方法といたしましては、各教科において1社を推薦いただき、その教科書を選定した理由を述べていただきたいと思いますと思っております。</p> <p>次に、それを基に採択をさせていただきたいと思っておりますが、教育長である私、そして教育委員4名を合わせて5名ということになります。基本的には、多数の方から推薦を受けた教科書について採択することとしたいと思っておりますが、採択が分かれたときにつきましては、5名で改めて協議をし、決定することとしたいと考えております。</p> <p>また、採択の手順といたしましては、中学校、義務教育学校後期課程教科用図書採択につきまして、教科ごとに審議を行い、採択する教科書を議決することといたします。</p> <p>以上の2点についてよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、教科ごとに議事を進行してまいります。</p> <p>国語科の教科用図書採択について審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校	<p>それでは、国語科の報告をさせていただきます。</p>

教科用図書選定 委員会委員長	<p>調査研究の中では、各発行者の資質、能力の育成に向けた工夫などを中心に協議をいたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、多様性、SDGsなどの新しいテーマを盛り込みながら、自ら学習に取り組もうとする態度を育成することができるよう工夫がありました。課題解決的な言語活動をそろえ、協働的な学びの場面も多く設定していました。</p> <p>三省堂は、学び方を身につけるため、論理的思考力を培うよう単元の構成に工夫がありました。対話や考えの共有などの協働的な活動を行う単元により、仲間と共に学習の達成感や学ぶ意欲を高める工夫がありました。</p> <p>教育出版は、学習方法の可視化を図るとともに、3つのプロセスで単元構成を行うことで自覚的な学びを促す工夫がありました。小教材の内容が充実しており、情報量が豊富にありました。</p> <p>光村図書は、質の高い文学作品を基に批判的、共感的などの多様な解釈が可能となるよう単元づくりに工夫がありました。偏りのないよう教材配列や領域のバランスなどにも工夫がありました。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>では、説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>国語科について何かご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。</p> <p>では、各委員からご意見をご報告いただきたいと思います。</p> <p>山本委員から。</p>
山本委員	<p>最初に結論から言うと、私は光村図書です。</p> <p>先ほど、各社の特色等の説明があったんですが、私は、特に思考力を育てるところが、光村図書が一番具体化されていると思いました。</p> <p>巻頭に思考の地図があります。こういう思考の方法とか、そういうものはほかの社にもあるんですが、広げる、整理する、深めるという3段階で簡潔に整理している。これが巻頭だけではなくて、教科書の途中、途中で思考のレッスンですか情報整理レッスンという形で、丁寧に思考力を育てることについて扱っている。最後に巻末に、学びの会議というところがあるんですけども、ここでも思考ということを手厚に扱ってきているというふうに、初め、中、最後にそれが一貫して具体的なことが入っているということで、光村図書ということにしました。</p>

藤岡教育長	ありがとうございます。 では、続きまして藤原委員。
藤原委員	私も結論としては、光村を選びました。 各それぞれの単元について、導入部分とまとめ部分にそれぞれ着目しました。 まず、導入部分について、それぞれ目標が設定されているんですけども、目標がより具体的かどうか、抽象的なものかというところでいいますと、光村と三省堂が、まず目標設定が具体的で、何をこの単元を使ってやるべきなのかなというのが、子供たちが捉えやすかろうというふうに考えました。 一方で、振り返りのページなんですけれども、問いの立て方、ヒントの出し方というものが、光村が非常に秀逸だと感じました。多様な視点、いろいろなものの見方ができるというところを捉えているということがあり、また、横書きで一覧性があり、分かりやすくしているという点も評価させていただきました。 以上です。
藤岡教育長	ありがとうございます。 では、続いて長岡委員。
長岡委員	私は光村図書さんです。 理由は、冒頭の学習の流れの中で、ここで身につける資質とか能力が具体的に示されていること。子供たちにとっても、それが分かりやすくまとまっているというふうに思いました。そして、一貫して日常生活に生かすという学びのプロセスが、とても明瞭だなというふうに感じたのが理由です。 以上です。
藤岡教育長	では、続いて側垣委員。
側垣委員	私も光村を選びました。 その理由は、冒頭に思考の地図というか、どういうふうな形で考えていくかということが図をもって示されていて、生徒たちがどのような方向でこの教科書を学んでいくのかということが明確に示されているということと、それから、1年間の国語学習をずっと見通しながら学べるような、そういうふうな教科書構成だった

	<p>たと思います。</p> <p>それから、いろんな作品もいろんな形の見方ができるような、そういうふうな文学作品がたくさん掲載されていまして、1年生、2年生、3年生において、発達段階やら学習の段階によって学べるような、バランスのいい構成になっていると思いました。</p> <p>以上です。</p> <p>では、私も申し上げますと、私からも光村を推薦したいと思います。</p> <p>理由につきましては、国語の学習指導要領の目的である、国語で正確に理解し、適切に表現する資質、能力を育成するという観点で、社会生活に必要な国語について理解し、適切に使用するというのがあります。</p> <p>また、伝え合う力を高めたり、思考力、想像力を養ったりということなんですが、光村図書に関しては、学びへの扉ということで、生徒が主体的に学ぶことができるようにより工夫がされていると考えております。そういう中で、生徒が適切に理解をし、そして、それを使うことができるようになっていくかと思っております。</p> <p>また、社会生活に必要な国語という観点では、報道文の比較を丁寧に詳しく述べられて、適切に学ぶことができるよう工夫がされていると考えております。</p> <p>国語につきましては、皆様、光村ということでございますので、光村を採択することによってよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、ご異議がないようですので、光村に決定をいたします。</p> <p>次に、書写の教科用図書採択について審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>それでは、書写の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究の中では、写真、挿絵、記号、図等の分かりやすさの工夫を中心に協議いたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、基本の点画の書き方について、毛筆の始筆に穂先の向きが分かるように運筆を可視化できるよう工夫がありました。利き手の違いにかかわらず学習に取り組むことができるよう、教材文字と書き込み欄を</p>

	<p>上下に配置する配慮がありました。</p> <p>三省堂は、各教材が見開きで構成され、学習目標、書き方のポイントを示した書き方を学ぼう、振り返りが設定されています。看板や活字など、文字文化や文字を書くことの意義を見詰め直す教材も設けられています。</p> <p>教育出版は、実寸大の見本や筆の運び方が詳しく記載され、自分から書きたくなるような工夫がありました。調和と配列を意識できるよう、単元づくりや書写で獲得した力を生かすことができる様々な書く活動が用意されていました。</p> <p>光村図書は、考え、確かめ、生かす、3つのステップを示し、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫がありました。硬筆の練習帳が別冊として設けられており、活字を取り上げ、文字の目的に応じて使い分けることを体感する単元がございました。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>書写についてご意見、ご質問はありますか。</p> <p>では、各委員からご意見を報告いただきたいと思います。</p> <p>では、続いては藤原委員から。</p>
藤原委員	<p>書写については、結論としては三省堂がふさわしいというふうに思います。</p> <p>手書きの文字というものがどんどん世の中からなくなっていく中で、子供たちがどういった場面で手書きの文字というのに触れるのかというふうな観点から考えると、やはり学校活動の中で、発表であったりポスターを書いたりといったところかと存じます。そうした点から、その点における記述が最も充実していたのが三省堂であったことから、三省堂を選びました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、続いて長岡委員。</p>
長岡委員	<p>私も三省堂さんを推薦します。</p> <p>藤原委員がおっしゃったように、社会生活で用いる言葉とかの書き方を、硬筆で練習し、実践的な力を定着させるというようなことが工夫されている点です。今はパソコンで膨大な量をプリントアウトするというのが簡単にできるんですけ</p>

	<p>れども、書字には即時性が求められる場面というのが社会生活では多くて、例えば授業の場面でもすぐにメモを取る、社会人になってもメモを取ったり、自分のことをすぐに書き込んだりというようなことが必要になってきますので、毛筆ももちろん重要なんですけど、こういう力の定着に配慮されているところの三省堂さんが、とても特色があっていいというふうに思いました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、続いて側垣委員。</p>
側垣委員	<p>私は光村図書を選びました。</p> <p>その理由は、一つには私も左利きなんですけど、左利き、右利き用の書写についての配慮が一番よかったかなということ、それから、教科書と連動した教材を採用して、国語の教科書と連動した教材がたくさん準備されていると。それから、最後に練習帳もついておりますので、個別の練習もできるなという形で、私は光村図書を選びました。</p>
藤岡教育長	<p>では、続いて山本委員。</p>
山本委員	<p>私は光村図書です。</p> <p>どの教科書にも動画が載っているんですけど、解説を聞いていて一番分かりやすかったと思っています。それから、お手本のことがございましたけれども、手本が全部見開きなんです。2ページで、縦書きで見開きになっている。だから、左利き用の生徒も右利き用の生徒も使いやすいということ、それから、手本のほかにほかの文字にもチャレンジできるという、そういう発展的な学習も入っていたということで、光村図書です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、最後に私から、私は三省堂が適切だと考えております。</p> <p>書写につきましては楷書、そして、ふだんあまり子供たちが使わない行書につきまして、まさに書き方を理解して書くことが必要となりますが、その際に、何に気をつけてどう書けばよいかということが、大変分かりやすく記載されていると考えますし、また、様々なコメント、アドバイスの中から自分で考えながら行うことができるよう工夫がされているという感じがしております。</p>

	<p>また、主に中学校3年生で学習する文字文化の豊かさにつきましては、身近な資料を含む、三省堂は達人のコメントということで、非常に身近な事例から文字文化の豊かさを実感できるよう工夫されているという感じがしております。</p> <p>つきましてはですが、一応結果といたしましては、三省堂が3で光村が2ということでございましたので、三省堂のほうが多数ということで、書写につきましては、三省堂ということで採択をするということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、ご異議がないようですので、三省堂に決定をいたします。</p> <p>次に、社会科の教科用図書の採択について審議を始めます。</p> <p>まず、地理的分野について、選定委員会のご説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>社会科地理分野の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究の中では、各発行者の言語活動を充実するための工夫などを中心に協議いたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですけれども、東京書籍は、単元を貫く問い、探究課題を設定し、導入、展開、まとめとなるように単元が構成されていきました。まとめでは、学習内容の確認に加え、小集団の参加型学習を促すみんなでチャレンジや、思考ツールを活用しながら思考を深め、探究課題の解決に導くよう工夫されていきました。</p> <p>教育出版は、社会的な見方、考え方を働かせた学習が促されるように構成されていきました。終章では、地域の課題解決に向けた提案活動に取り組む単元があり、小学校、他分野、他教科との接続、連携を意識した配列がなされていきました。</p> <p>帝国書院は、単元を貫く問い、章・節の問い、毎時の問いが設定され、生徒自らが学習の見通しを立てられるよう単元が構成されていきました。自ら説明する活動を設け、言語活動が充実するよう工夫されており、各単元が地図帳との連携を図る配慮により、地図帳の活用を通して教科書の学びを深める工夫がされていきました。</p> <p>日本文教出版は、学びの成果や自己の成長を振り返ることができるように教科書が編集されていきました。生徒同士の話し合いなど、対話的な活動が取り入れられており、学習全体を通じ、見方、考え方を働かせることを促し、地理的事象の理解を深められるような配列に工夫がありました。</p> <p>以上でございます。</p>

藤岡教育長	<p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>地理的分野についてご意見、ご質問がありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、各委員からご意見を報告願います。</p> <p>まずは、長岡委員からですね。</p>
長岡委員	<p>私は、東京書籍さんです。</p> <p>理由は、探究課題を設定して、学習プロセスが配置されているという点です。問題意識から自身の興味、関心を発展させて、社会的事象に関心を持って学習に取り組む、それから、社会生活についての理解を深められるような内容となっているということが理由です。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、続いて側垣委員。</p>
側垣委員	<p>私も東京書籍を選びました。</p> <p>今、長岡委員もおっしゃいましたけれども、各単元において探究課題ということテーマに、そこから様々な対話、あるいは対話的な学びから子供自身が課題をつかめるような取組ができるような構成になっていたかと思います。それから、兵庫県の子供たちが学ぶわけですから、その中で課題が見つけれられるような、そういうふうな取組がされていたというふうに思いますので、東京書籍を選びました。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、山本委員。</p>
山本委員	<p>私は日本文教出版です。</p> <p>どの教科書も課題解決的な構成は取り入れています。大事なのは課題の質ということだと思います。どの教科書も見開きで課題があって、1時間で構成するという考え方は共通だと思いますが、その課題を見たときに、ほとんど全て「どのように」という課題なんですね。事実を確認するというところ。ところが、日本文教は、ここからさらに発展して問いを立てるということで、「なぜ」という問いを設</p>

	<p>定しています。日本文教は、3分野ともこれをするんですが、その中で地理が一番いいと思いましたので、日本文教出版ということにしました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、藤原委員。</p>
藤原委員	<p>私は、東京書籍さんを選びました。</p> <p>いずれの教科書も図や写真などを豊富に使って、その土地のイメージを持ちやすくするという工夫をされておりますが、せっかくの地理の教科書ですので、地図から入ることがいいのかなと考えた次第です。それも、所与の前提、つまり我々大人は、その土地の文化とか気候とか歴史とか産業とかというのは、知識として分かっているわけなんですけれども、必ずしもそれを知らない子供たちが、地図から一体何が読み取れるのかという学びの深め方をするという点で、東京書籍が一歩リードをしていると感じた次第です。</p> <p>また、近畿地方のところが神戸市から入っているかとか、日本の地理も兵庫県から入っているかというふうに兵庫県の地元を期せずして重視されているというところから、子供たちも親しみやすくなるのかなというふうに考えました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、最後に私から、私も東京書籍を推薦したいと思います。</p> <p>多くの教科書でもいろいろ工夫をされておりますが、東京書籍も見開きページでまとめられている。最初に冒頭、学習課題を提示していて、本文が続くという構成で、生徒にとっては授業の流れが一目で見通せるように工夫されている。また、サブタイトルも興味、関心を高める工夫がなされていると思っております。</p> <p>また、本文に加えて資料が豊富に盛り込まれ、解説スキルアップというような欄も多く設けられているように、より深く、また多面的、多角的に日本の国土などについて知識、理解を深める工夫がなされていると感じております。</p> <p>では、以上の結果から、地理的分野につきましては、東京書籍ということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

藤岡教育長	<p>では、ご異議がないようですので、東京書籍に決定をいたします。 次に、歴史的分野について、選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>社会科歴史分野の報告をさせていただきます。 調査研究では、教科目標から見た編集の適切さや単元の適切さなどを中心に協議いたしました。 各発行者の特徴ですが、東京書籍は、個人で整理した考えを基にグループで対話したり協力したりして、課題解決をする場面が設けられていました。単元を貫く探究課題が設定され、問いを軸にして単元を構造化し、思考ツールなども活用しながら、節の課題を順に解決しながら探究課題の解決へと進むことができるよう工夫されてきました。 教育出版は、主題と副題と共に学習課題を明示することで、生徒が課題意識の下、取り組めるようにするとともに、主体的な学習態度の育成を図るようにしています。グループによる学習活動がバランスよく設置されており、教え合いや学び合いによる協働学習を通して多角的に理解したり、考察を深めたりすることができるよう工夫されてきました。 帝国書院は、単元の初めに人々の営みを体感できるイラストが提示され、学習意欲を高め、単元ごとに問いを明確化して示し、学習課題に入る工夫がありました。振り返りでは、思考ツールを活用し、個人の考えをまとめ、他者と対話しながら探究を進める工夫がありました。 山川出版は、各章に日本史と世界史の年代を上下に分けた帯年表が付され、世界の状況を通観しながら理解できるよう工夫がありました。因果関係を重視した詳しい記述がされており、意味を捉えにくい用語や高等学校での学習と関連する内容を用語解説で解説し、理解を深めることができる構成となっています。 日本文教出版は、本文は十分な文字量を確保して分かりやすい表現で、歴史の流れや因果関係を丁寧に記述し、時代の特色を捉えていく工夫がありました。習得した知識や技能を用いて文章化、言語化できるように学習活動の充実を図っています。 自由社は、導入部分では、対話による謎解きを出題し、学習活動への動機づけに工夫が見られ、欄外に設けられたモノサシ年表で、単元が歴史のどこに位置しているかも意識できるようにしています。調べ学習のページ「修学旅行で行く奈良と京都」では、奈良の大仏と平等院鳳凰堂を例に素朴な質問を提示し、自分から</p>

	<p>調べたくなる工夫がありました。</p> <p>育鵬社は、各章の冒頭に歴史を体感する活動を取り入れ、歴史学習への関心を深める工夫がありました。歴史上の人物に関する説明文が設定され、その時代に生きた人物の人間的魅力なども学べるようになっていきます。また、世界史の扱いを充実させることで、世界史の視点から日本の歴史を考察できるよう工夫されました。</p> <p>学び舎は、時代を大観したり、テーマに応じて学習したことを比較したり関連させたりすることで、意見を交換して考えを深められるような工夫があり、年表や索引、歴史地図などにより、歴史の出来事を相互の関連に目を向け、多目的、多面的に思考できるように配列をされていました。</p> <p>令和書籍は、古代、中世、近世、近代、現代という大単元において、政治、外交、文化、産業のカテゴリーでそれぞれの探究課題が立てられています。歴史の真実を追求する自主性を促し、問いの提起を重視した構成に工夫が見られます。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>歴史的分野についてご意見、ご質問はありますか。</p> <p>では、各委員からご意見をいただきたいと思います。</p> <p>今回は、側垣委員。</p>
側垣委員	<p>私は東京書籍を選びました。</p> <p>その理由は、やはり単元ごとに、個人とグループ活動の話合いの中で学びを進めていくということと、それから、探求課題を解決するという活動の中で深化して課題解決的な学習を進めていく構成になっていること。</p> <p>それから、中身につきましては、単元ごとに兵庫県に関係のある、あるいは神戸に関係のある題材が選ばれていて、地元の中学生としては非常に興味が湧く内容かなというふうに思って、東京書籍を選びました。</p>
藤岡教育長	<p>では、続いて山本委員。</p>
山本委員	<p>結論からいうと、東京書籍になります。</p> <p>日本文教出版は、先ほど地理の話で「なぜ」の問いをとという話をしたんですが、歴史にはそれをそんなに強く感じませんでした。</p>

	<p>それから、帝国書院、これが私個人的には、非常に面白いという気がしました。タイムトラベルとかアクティブ歴史なんか、内容は非常に面白い。しかし、ちょっとページ数が多くて現場がしんどいという気がします。</p> <p>東京書籍は、歴史の見方、考え方ということを最初に1、2、3で書かれているんですが、その辺りの説明の例示が分かりやすい。それから、思考ツールの話が先ほどありました。まとめの活動、これ東京書籍の特徴ですけれども、この部分で思考ツールを上手に使っていると思います。これ使い過ぎると形式になってしまうのですが、その辺りが上手に使われているという気がしました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	続いて、藤原委員。
藤原委員	<p>私も結論としては、東京書籍を選びました。</p> <p>歴史の学習においては、今、勉強しているところが歴史全体の中のどこに位置づけられるかという縦軸の話です。紀元前から21世紀までをどこに位置づけられるのかという縦軸の話と、また、同時代において世界で、また日本で何が起きているのかという横軸の理解が、この縦軸と横軸をバランスよく学ぶことが重要になってくるのかなというふうに考えます。そうしたときに、全てのページに時代区分のグラフを書き添えて、常にそれを確認しながら読めるのが東京書籍、あと帝国、育鵬社、日本文教出版でした。</p> <p>一方で横軸、世界で何が行われているのかということ意識して、ユーラシア大陸の地図を活用されていたのが東京書籍、山川、日本文教出版といったところになります。</p> <p>こうしたところから、東京書籍と日本文教出版と非常に迷ったところがあるんですけれども、課題の立て方、その単元において何を学ぶべきなのかという捉え方の端的さという点から、東京書籍を選ばせていただきました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、続いて長岡委員。</p>
長岡委員	<p>私も東京書籍さんを推薦したいと思います。</p> <p>理由は、地理のところと同様なんですけれども、学習課題を設定して、まとめで</p>

	<p>解決するというふうにその流れが非常にスムーズであるということです。学習する生徒にとっては、とても取り組みやすい内容にまとまっているのではないかなというふうに感じました。</p> <p>それから、数社同じようにしているところもあるんですけども、歴史全体の中での位置づけというのが端的に示唆されているという点についても推薦する理由です。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、私の意見を申し上げますと、私も東京書籍が適していると考えております。私といたしましては、先ほど地理の部分でも申し上げたとおりですが、やはり非常にレイアウトが優れていて、長岡委員もおっしゃいましたが、学習課題を提示して本文が続くという構成で、やはり生徒にとっては本時の授業の流れを非常に分かりやすく理解することができると思いますし、地理と同様にサブタイトルがいろいろ工夫されていると思っております。</p> <p>また、特に歴史においては、人物にスポットを当てた欄を設けて、やはり生徒の関心を高めるということ、また、理解が深まるように工夫されていると考えております。</p> <p>また、深めようというページがありまして、そこでは学習指導要領で示されている、まさに相互の関連を多面的、多角的に考察するという目標が実現できるよう工夫をされていると考えております。</p> <p>それでは、歴史的分野につきましては、東京書籍を採択するという事によろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、ご異議がないようですので、東京書籍に決定をいたします。</p> <p>次に、公民的分野について選定委員会のご説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>社会科公民分野の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究では、教科目標から見た編集の適切さや言語活動を充実させるための工夫などを中心に協議いたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、単元の導入で身近で興味、関心の沸く場面</p>

	<p>設定と、個人活動、グループ活動から成るみんなでチャレンジが設定され、課題追求の意欲を高める工夫がされています。単元末の深めようでは、思考ツールを活用したり、対話的、協働的な活動をしたりして探究課題を追求する構成となっています。</p> <p>教育出版は、文章や資料の読解を通して基礎的、基本的な知識、技能の習得を図ったり、自分の考えを表現する活動が促されるよう配慮したりして編集されました。振り返り場面に見方、考え方を明確にした言語活動も設けられていました。</p> <p>帝国書院は、言語活動を毎時間繰り返し行うことで、思考力、判断力、表現力の育成を図るように工夫され、全ての生徒が小集団を中心として、他者と関わり合えるような課題が設定されています。探求学習への準備では、学習した内容を基に問題解決的な学習や新たな課題が発見できるよう図られています。</p> <p>日本文教出版は、1つの授業時間の学習内容を見開き2ページに構造化することで、学習の位置づけや見通しをつかみやすくしています。導入場面に学習する内容の漫画があり、その漫画からつながるように学習内容の概要や問いが設定されています。</p> <p>自由社は、各章の導入に深く考えることのできる大きな問いが設定されており、話し合いにより解決を図る課題などが用意されています。また、重要な言葉にはコラムを設けて解説し、理解を深める必要があるところは単元に準じた活動を設け、自主的に学習する態度を育てようとしています。</p> <p>育鵬社は、振り返りの機会や他教科との関連を示すコラムなどが用意され、学びに向かう力や人間性の育成にも配慮されています。個人や班で取り組める作業や活動を行うような課題が設けられ、多面的、多角的な視点で考えられるような工夫がされていました。</p> <p>以上でございます。</p> <p>藤岡教育長</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>公民的分野について何かご意見、ご質問はありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、各委員からのご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>今回、山本委員。</p> <p>山本委員</p> <p>結論から言いますと、東京書籍になります。</p>
--	--

	<p>これも迷いました。やっぱり帝国書院、面白いです。ただ、ちょっと難しい。難しさと時間的なことがあると思いました。</p> <p>それから、日本文教の問いを立てるというのは、弱いという気がしました。アクティビティーもアクティビティーとしてはちょっと弱いなという気がしました。</p> <p>東京書籍は、さっきからずっと言っている章ごとの最後にまとめの活動というのがあるんですが、これの深め方が、公民分野が一番よくできていると思いました。</p> <p>生徒の思考力を深める課題というか問題、それを扱っていると思いましたので、東京書籍にしました。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、続きまして藤原委員。</p>
藤原委員	<p>私も結論としては、東京書籍を推薦したいと思います。</p> <p>公民というのは、私たちの社会がどういう仕組みで動いていて、どんな問題点があって、その問題点を解決するにはどんな仕組みがあるのかということ学ぶわけですけども、その中で、それが分かりやすいように、また、我が事として捉えられるようにというのは感じました。</p> <p>そうした中、東京書籍はそれぞれの章の最後にある深め方が、非常に実践的だなというふうに考えました。例えば、コンビニのような小さいお店を自分が経営者になったらどうするであるとか、あとは、政治家的に政策を立てるにはどうすればいいのかとか選挙はどうかとか、裁判になったらどういうふうに争点を整理していくのかというふうな非常に実践的なテーマを言ってくさっていますので、学習したことが文字どおり深まりやすいという教科書になっているかと思い、推薦させていただきます。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、続いて長岡委員。</p>
長岡委員	<p>私も東京書籍を推薦したいと思います。</p> <p>理由は、先ほどおっしゃったように、場面設定が生徒の興味、関心を引くような、そういう非常に関心をかき立てるような工夫が図られているという点です。それからもう一つは、説明の中で制度が分かりやすい、具体的な言葉、平易な言葉で表現されているというような点も評価できるというふうに思いました。</p>

藤岡教育長	以上です。
側垣委員	では、続いて側垣委員。 私も東京書籍を選びました。 その理由は、学習の進め方については先ほどの2教科と同じような形で、適切に導入から最後に結論をみんなで、グループで考えられるという、そういうふうな進め方、適切な進め方になっていると思いますし、それぞれの課題が非常に分かりやすく設定されているなというふうに思います。 今回この公民を選ぶときに、私は一つの分野に注目をして見せていただきました。それは何かというと、子どもの権利条約等の子供の権利についての記載を各社見せていただきました。その中で、各社それぞれ取り上げてはいたんですが、東京書籍が子供の権利についての説明が、一番丁寧になされていたということと、それから、その他の関連する人権についての記載がきちっとされていたということも、多分唯一だったと思うんですが、昨年の4月に制定された子ども基本法についても触れておるという形で、そのことが理由で東京書籍を選ばせていただきました。
藤岡教育長	ありがとうございます。 では、最後に私ですが、私も東京書籍を推薦したいと思います。 東京書籍の社会科の教科書は共通してレイアウトが大変工夫されていて、子供たちにとっては分かりやすいので、授業の中でぱっと見て分かるようになっているということは共通していると思っております。 あと、公民的分野で特に大切な学習指導要領にある、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度、これを養うという面においては、また多面的、多角的な考察を行うということにおいても、みんなでチャレンジというような欄を設けて対応を促して深い理解、また多面的、多角的な考察、または、実際に自分が主体的に社会の課題等について解決するということが、大変工夫されていると思っております。 以上です。 では、以上の結果から、公民的分野につきましては、東京書籍ということによろしいでしょうか。

藤岡教育長	<p>(異議なし)</p> <p>では、ご異議がないようですので、東京書籍に決定をいたします。 次に、地図帳について、選定委員会の説明をお願いします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>では、地図の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究では、発行者が2社ですので、観点ごとの特徴に加えて、2社比較をしたときにどのような違いがあるかということを中心に協議をいたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、SDGsをテーマとした特集ページや現代的な諸課題に関連する資料を掲載しています。また、地図を深く読み取るためのヒントとして、3種のキャラクターを使い分けて質の異なる問いを提示し、様々なことを調べたり考えたりすることができるよう工夫されています。</p> <p>帝国書院は、地図の読み取りを促すための問いが設定されています。自然、民俗、産業などのイラストが描かれた鳥瞰図により、地域の特色を大観できるようになっています。日本を東アジアからの視点で見る地図や歴史と関連した鳥瞰図により、社会的な物の見方や考え方を身につけることができるよう工夫されています。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>地図帳について何かご意見、ご質問ございますでしょうか。</p> <p>では、各委員からご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>藤原委員。</p>
藤原委員	<p>私は結論としては、帝国書院さんの地図帳がふさわしいというふうに考えます。</p> <p>理由は幾つかあるんですけども、まず、帝国さんのほうが東京書籍さんよりも、関西圏に関する地図が量的に多いということがあります。それによって西宮の子供たちは、より自分が住んでいるところはどこかというところから確かめることが多いでしょうから、チェックするページが必然的に増えるということがあります。また、帝国さんのほうは、この鳥瞰図であるとか、あるいは歴史にひもづけた地図の説明文があって、より多角的な地図の読み方ができるようになるのかなというふうに考えます。</p> <p>双方ともに非常に残念だったのが、近畿地方中心部を示したときに、西宮市がちょうど折れ曲がるところに来ていると。これはどちらもそうでした。これは何か</p>

	<p>いちゃもんみたいですけども、ただ、やっぱり西宮市民としては非常に残念だなというふうに思った次第です。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、続いて長岡委員。</p>
長岡委員	<p>私も帝国書院さんを推薦します。</p> <p>鳥瞰図に代表されるように他教科、特に歴史とか公民の学習に関連したページが設定されているという点が、一番大きな推薦理由です。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、側垣委員。</p>
側垣委員	<p>私も帝国書院さんをご推薦します。</p> <p>今、藤原委員が言われましたけれども、前はどちらかが真ん中に来ていたんですけども、今回は両方とも折れ曲がる所に来ていて、ちょっと残念だったなど、それは別にいいんですが。</p> <p>やはり、先ほどの報告にもありましたように、各関連の分野の学習でも使える、関連した取組ができるということと、それから、鳥瞰図や世界の環境や、そういうものに配慮してそこに注目をされるというふうに、いろんな工夫をされていました。全体的にぱっと見たときに何か見やすいなという雰囲気がありましたので、帝国書院を選ばせていただきました。</p>
藤岡教育長	<p>では、山本委員。</p>
山本委員	<p>結論から言いますと、帝国書院です。</p> <p>今回どちらの地図帳も、アジアとかアフリカとかの資料とか、現代的な課題がすごく入っていると思いました。ウクライナの紛争の問題とか、移民状況や難民の問題、EUをめぐる問題とか、シェールガスまで入っていました。そういう現代的な課題等がきっちり入っているということを感じました。</p> <p>帝国書院のほうが、先ほどほかの方からもありましたが、歴史アイコンとか公民アイコンを設定して、歴史的分野とか公民的分野との関係を見やすくしていました。</p>

藤岡教育長	<p>それからあと一つ。帝国書院は、地図で発見！という項目を設定して、そこをずっと見ていくと、基本的な地図の見方が身につくような工夫がされています。そういう点で帝国書院にしました。</p> <p>私からも帝国書院ということで、もう皆さんご指摘のとおりだと思っておりますが、私としては両社を比較したとき、感覚論になりますが、印刷が鮮やかで文字も読みやすいと考えました。</p> <p>また、先ほど山本委員もご指摘いただいたように、地図の中に地図で発見！という欄が大変多く入っていて、地形とか、また防災も含め我が国の国土に対する理解とか、そういったものが深まるような、地図帳の中でも深まるように工夫がされているというところがいいところだと思います。</p> <p>では、以上の結果から、地図帳については帝国書院を採択するというところでよろしいでしょうか。</p>
藤岡教育長	<p>(異議なし)</p> <p>では、ご異議がないようですので、帝国書院に決定をいたします。</p> <p>では、次に数学科の教科用図書採択について審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>数学科の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究の中では、資質、能力の3つの柱の育成に係る工夫について協議をいたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、単元の導入で日常生活から問題を発見し、学習内容への興味、関心を高める工夫がありました。内容のまとまりごとに学習課題や問題Qがあり、「めあて」、「課題」を明確にした学習ができたり、「クイックチェック」で生徒自身がつまずきを早期に発見できたりするなどの工夫がありました。また、深い学びのページは、問題発見、解決の過程を重視した内容になっており、思考力、判断力、表現力等の向上が期待できます。</p> <p>大日本図書は、基礎的な知識や技能を習得するために例や例題を活用することを明確にしていることに加えて、問題発見、問題解決の流れが示されており、思考力等が育成できるような工夫がありました。また、思考力を高める問題として、章ごとに「活用・探究」が設けられておりました。</p>

	<p>学校図書は、問いであるQに数学的な見方、考え方の例を示し、問題解決の見通しを立てることにより、筋道を立てて論理的に考察できるようになっておりました。また、章末に、「さらに学んでみたいこと」を自分の言葉で記入し、意欲の向上が期待できるような工夫がありました。</p> <p>教育出版は、数学的活動を複数の章に設置し、問題発見、解決の過程を意識して取り組めるようレイアウトされておりました。また、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、「学びのプロセス」のページが設けられており、思考力、判断力、表現力を伸ばせるように工夫されておりました。</p> <p>啓林館は、説明し、伝え合う活動の充実のために「説明しよう」、「話し合おう」が設定されており、表現する力を育成するために「まとめよう」が設定されておりました。また、思考力、判断力が学習で培われ、さらに創造力が養われるように章末問題「学びを身につけよう」で多種多様な問題が設けられておりました。</p> <p>数研出版は、生徒と先生のキャラクターの対話が、数学的な見方や考え方を具体的な形で示す目的で設けられているので、自然と学び方が身につくような工夫がありました。また、「考えよう」、「調べよう」など活動的な場面が各所にあり、興味、関心に応じた学びができるようになっておりました。</p> <p>日本文教出版は、全ての章に「説明できるかな」として、事項や事実、方法や手順の理由を説明する記述式問題が用意されており、数学的な表現力を高める手だてが打たれておりました。また、主体的に学習に取り組む態度を評価するための課題として、「学びに向かう力を育てよう」が各章に設定されておりました。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>数学科についてご意見、ご質問はありますか。</p> <p>それでは、各委員からご意見をお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>長岡委員からですね。</p>
長岡委員	<p>私は、東京書籍を推薦させていただこうと思います。</p> <p>その理由は、まず、この東京書籍さんの教科書は、練習問題が非常に豊富で、いろんなレベルの生徒にとって取扱いしやすいのではないかなという点が一つです。</p> <p>それから、数学的な見方、考え方で学ぶということについて、数学的に表現する力というのを、私は図とか表とかグラフを用いて事象を説明するというふうに思</p>

	<p>うんですけども、そういう態度や力を身につけていきやすいような工夫が、非常になされているのではないかなというふうに感じました。</p>
藤岡教育長	<p>以上です。</p>
側垣委員	<p>続いて、側垣委員。</p> <p>私は自分自身では、数学の教科書について論評すべきではないなというふうに思っているんです。本当に数学は苦手で、学生の頃から、数学さえなければこの世は幸せだなというふうな立場だったので、ただ、そういう数学が苦手な私の目から見て、3社比較させていただきました。今年度採用されている啓林館と、それから東京書籍と、それから、結構難しいと言われている数研出版の3社を比較させていただいたんですが、やはりその中でも、東京書籍のほうが私の目から見ても見やすく、学習が進めやすいなど。ちょっと安心して勉強してみようかなというふうに思えるような構成、それから、イラストやそういうものもちょっと楽しそうだなというふうな雰囲気が感じられたので、数学劣等生からしたら、この教科書で勉強したいなというふうに思いました。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、続いて山本委員。</p>
山本委員	<p>結論から言うと、私も東京書籍です。</p> <p>数学が嫌いとか苦手とかいう生徒はたくさんいます。そう考えたときに、数学の世界にずっと入れる生徒と、そこで苦手でもう入れなくなってしまう生徒がいる。特に中学校でははっきりしてくる。そうすると、数学が生活や社会とどうつながっているのかということから入っていけるような教科書が大切だと思いました。</p> <p>そういう点では、東京書籍と大日本図書が、よくできていると思いました。</p> <p>東京書籍のほうは、MATH CONNECT という新しい考え方、これを出してきておまして、これは数学的なつながりのキーワードということまでしてきているんですね。身の回りにつながって、社会につながって、算数と数学がつながって、見方、考え方でつながって、つながりを深めるというふうに、自然に生活から入ってきた、深めようとするその過程が、スムーズというかそんなふうに思いました。ですから東京書籍です。</p> <p>啓林館は、前回と形式が変わっています。前は、前からみんなで学ぼう編と、</p>

	<p>自分から学ぼう編とが後ろからあって、挟む形になっていた。これが前からの仕様になって、ある面ではコンパクトになったというふうに思いましたが、その分、若干、取り扱っている問題の量が減ったのかなというふうにも思いました。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。 では、藤原委員。</p>
藤原委員	<p>私は、啓林館かなというふうに考えました。 ご指摘のあったように、数学は苦手な生徒が出がちであるということで、何のためにこれを勉強しなくちゃいけないのかという疑問に直面する生徒が、一番多い科目なのかもしれないなというふうに感じました。私は個人的には、数学は学生のおときは大好きで、あまり疑問も感じずにその世界に入っていけるタイプだったんですけども、公立中学の教科書ということを考えると、ちょっとそういった視点で物を見てはいけないなというふうに思いました。 としたときに、どこまで生活に結びつけた指導を行うかというのを見たときに、私個人としては、あまり生活に結びつけ過ぎるものについては、逆に違和感があるところがあります。ですので、そのバランスが一番取れているのは、やはり啓林館かなというのを感じた次第です。 ちなみに個人的には、数研出版さんのような端的に数学に入る世界というのが一番好きでした。 以上です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。 では、最後に私であります。私は東京書籍を推薦したいと思います。 東京書籍は、やはり数学は積み上げていくものだと思いますので、これまでの既習内容を生かして、新たな課題に取り組めるよう工夫がなされていると思いますし、また、深い学びというページを設けたり、学びを振り返ろうというような欄が大変多くて、数学の着実な定着、数学的活動の楽しさ、よさを実感して考えることができるよう工夫をさせていると思いますし、また、ふだんの生活に関わる問題については、学習指導要領に書いてあるとおりですが、事象を例えばデジタル化したり、数学的に改善したりする技能をつけるということにも工夫がされていると思っております。ですので、東京書籍が適していると考えております。 では、以上の結果から数学科につきましては、東京書籍が多数ということでした</p>

藤岡教育長	<p>ので、東京書籍を採択することによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、ご異議がないようですので、東京書籍に決定をいたします。 次に、理科の教科用図書採択について審議を始めます。 選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>理科の報告をさせていただきます。</p> <p>各発行者の教材の配列の適切さや時数、時期などを中心に協議いたしました。 各発行者の特徴ですが、東京書籍は、どのように学ぶか、何ができるようになるかを重視した構成がされています。巻頭に、探究の進め方について活動例、言語活動の充実を図るためにモデル図で自分の結果や考えを班・学級で話し合う活動を設定する工夫がありました。</p> <p>大日本図書は、1年生は「問題を見つける」こと、2年生は「計画を立てる」、「結果から考える」こと、3年生は「振り返る」ことに重点を置いています。支援キャラクター、生徒キャラクターの発言や問いにより自分の考えを整理したり、仲間と意見交流したりして活動を発展させていく工夫がありました。</p> <p>学校図書は、課題を見つけ、調べる方法を立案し、事実を基に考察する力を理科で学ぶ探究の力と位置づけています。先生、生徒キャラクターの発言や問いにより自分の考えを整理したり、他者と交流したりして発表する活動へとつなげる工夫がありました。</p> <p>教育出版は、探究する力、確かな学力、デジタルの学びの3つの特色を持たせた編集となっています。「学習前の私、学習後の私」では、生徒キャラクターの既習事項を基にした学習前の質問と学習後の質問を比べ、その質の違いを通して自身の成長を実感できるよう工夫がありました。</p> <p>啓林館は、各単元に「探Q実験」及びそれをサポートする「探Qシート」が設けられ、課題に対し個人と対話による仮説を立てて仲間と交流し、主体的に実験、考察が進められるプロセスが示されていました。丁寧な本文の記述、探究を通して学ぶ構成、1人1台端末の有効活用の3点を重視した編集となっています。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>では、説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p>

側垣委員	<p>理科についてご意見、ご質問はありますでしょうか。</p> <p>では、なければ各委員からご意見を報告いただきたいと思います。</p> <p>側垣委員ですね。</p> <p>これも非常に難しかったんですが、私は東京書籍を選びました。</p> <p>というのは、やはり先ほどの社会科と同じように、どのように学んでいくかということの子供たちが考えられるような編集をされていますし、まず、探究ということテーマにそういう目線で学習をしているということと、それから、簡単に言うと、生徒目線での編集がされているんじゃないかなと。ですから、結果的にやはり学びやすく、子供たちが興味を持って学習を進められるような教科書づくりをされているなというふうに思いました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、山本委員。</p>
山本委員	<p>私は、啓林館です。</p> <p>理科の場合は、社会科が課題解決的な学習というふうなことがあるように、探究の過程ということをして全ての教科書がやっています。その探究の過程というのは、形式的にならないということが大切です。つまり、実験しているけれども、それが予定調和的にもうそこに入ってくる、そういう形ではない、ほんとに探究の過程をたどっているものがある。そう考えたときに、啓林館の教科書は、仮説どおりにいかない場合を想定しているんです。それがすごく伝わってくる。東京書籍もそうしているんですが、啓林館のほうがはっきりと伝わってきます。</p> <p>巻末に探究の流れと探究の振り返りというところがありますが、特に振り返りがいいと思います。探究のつまずきと解決、ヒントということで、つまずくことが想定されていて、そこで仮説どおりにいかない場合のことが書かれている。そういうところから啓林館ということなんです。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、続いて藤原委員。</p>
藤原委員	<p>私も、啓林館がふさわしいというふうに考えます。</p> <p>先ほどもご指摘がありましたけれども、理科というのは、自然科学においては実</p>

	<p>験とか観察があつて、結果があつて考察をするという流れは当然あつて、大切なのは、その前提としての問いを立てること。さらに、問いだけではなくて、まず仮説を立てることということが重要だと思います。あくまで実験や観察というのは、この仮説を検証する手段といひますか作業ということですよ。</p> <p>そうしたときに、仮説をそもそも立てられていないという教科書は、大分減つてはおりますけれども、この仮説の立て方というものが、やはり啓林館が一番秀逸だなというふうに感じました。そこに、予定調和という言葉を手本委員、使われましたがけれども、どういった実験なり観察なりを導くことができるのかという、適切な仮説というものを立てる、書くということが大切になってきます。この観点から、啓林館がふさわしいというふうに考えました。</p>
藤岡教育長	続いて、長岡委員。
長岡委員	<p>私も啓林館を推薦したいと思います。</p> <p>同じような意見になると思うんですけども、観察とか実験において、目的、方法、結果、考察の順で科学的に思考を育む内容となっているという点です。しかもご指摘があつたように、仮説を立てたその根拠まできちつと考えさせている。この部分が非常に丁寧だなというふうに思いました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、最後に私でございますが、私も啓林館が一番ふさわしいと考えております。理科につきましては、まさに学習指導要領にあるとおり、自然の事物、現象を科学的に探究するというところが一番大切なところでございますが、啓林館の教科書、どの教科書にも載っているんですけども、啓林館の教科書が探求の手法について大変詳しく説明されているということは、評価すべき点かなと考えております。</p> <p>また、教科書全体を見通しても、本文の横に人物の吹き出しがいろいろと大変多くて、多様な意見とか疑問が記載されていて、そういったことを手がかりにして、生徒自身が主体的にまさに科学的に探求できるように工夫をされていると思っております。</p> <p>では、以上の結果から、啓林館が多数ということでございますので、理科については啓林館を採択するというところでよろしいでしょうか。</p>

藤岡教育長	<p>(異議なし)</p> <p>では、ご異議がないようですので、啓林館に決定をいたします。 次に、音楽科の教科用図書採択について審議を始めます。 まず、音楽科一般について選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>音楽科一般の報告をさせていただきます。</p> <p>両発行者において、ICTを活用した学習活動などをはじめ、様々な点が話題に 上がり、調査をしております。</p> <p>各発行者の特徴ですが、教育出版は、キャラクターによって具体的に活動内容が 示されており、例えば、「Active!」や「話し合おう」で考えたことや感じ たことを交流することで、言語活動が充実するよう配慮されておりました。また、 2次元コードで学習に対応した動画や資料がウェブ上で視聴、閲覧できるような 工夫がありました。</p> <p>教育芸術社は、吹き出しで疑問点やポイントを提示し、「学びのコンパス」では、 生徒たちが聞き取ったこと、感じ取ったことを基に音楽的な表現を考えさせる活 動ができるよう配慮されておりました。また、こちらも2次元コードからアクセ スし、譜例やカラピアノ、エピソードなどが視聴できることで、学びの活動を深 めることができると思われます。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>では、これより質疑に入ります。</p> <p>音楽科一般についてご意見、ご質問ありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、各委員からのご意見の報告に移りたいと思います。</p> <p>山本委員からですね。</p>
山本委員	<p>結論から言いますと、教育芸術社です。</p> <p>理由は、1つ目は、各学年の巻頭に歌唱と創作と鑑賞のつながりが書かれていて、 そのことによって自分が今していることがどこにどうつながっているのか、自分 の位置が分かるというのがとてもいいと思いました。</p> <p>それからあと一つ、アート思考ということ。ずっと私はこだわっているんですけ れども、最近このアート思考が重要視されています。これは、まねるということ</p>

	<p>から自分で答えを創り出すという、そういうことを大事にしようという考え方で す。そういうことを考えたときにイメージとか、それから感じるというようなこ とがすごく大切になってくる。そういう点では、教育芸術社のほうがイメージと いうことを重視した指導というのが、1年から3年までであるというふうに感じま した。</p>
藤岡教育長	では、続いて藤原委員。
藤原委員	<p>私も結論としては、教育芸術社のほうがいいかなというふうに考えました。 中学の段階での音楽というのは、それまでの歌唱であるとか合唱であるとかに加 えて、やはり深める、広げるといった点で、創作というのが新たな分野として入 ってくるというふうなことだと思います。そうしたときに、教育芸術社のほうが 楽譜にコードネームが充実していて、そこからよりアレンジをするであろうとい った、深めるといったことが子供たちにとってしやすいのではないかと思います。 また、創作と言われても面食らうわけですがけれども、教育芸術社のほうがメロデ ィー、リズムという順番に動線をきちっと引いていて、丁寧で入りやすいのかな というふうに捉えました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	では、長岡委員。
長岡委員	<p>私も教育芸術社を推薦したいと思います。</p> <p>理由は、コラムとか関連する写真というものを多用していて、音楽との向き合い 方、ここからぐっと広がっていくわけですがけれども、それを生徒自身が主体的に 考えることもできるような工夫がなされているというふうに思います。それから、 これまで気づかなかった音楽に対する気づきとか、それから多様な価値観なんか も気づきが深められるような、そういった内容になっているのではないかと思 います。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	続いて、側垣委員。
側垣委員	私も教育芸術社を選びました。

藤岡教育長	<p>選んだ理由は、前の3人の先生方が言われたことと非常に共通するところがあります。それに加えて言うと、教科書の紙面というんですか、非常にすっきりして学びやすい雰囲気を持っているんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>以上が選んだ理由です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、最後に私からですが、私も教育芸術社を推薦したいと思っております。</p> <p>教育芸術社につきましては、先ほど側垣委員からあったように、大変分かりやすく各ページに目標が記載されて、右上の欄に曲想と音楽の構造や背景、学習指導要領に定められている目標について、その理解が深まるような発言を記載するというような工夫がなされていました。</p> <p>また、学びのコンパスというページがあって、そこではもう一つの大きい目標である音楽表現を創意工夫するためのまさに思考力、表現力、そういったものの育成がなされるように配慮がなされているというふうに考えております。</p> <p>では、以上の結果から、音楽科一般につきましては教育芸術社を採択するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、ご異議がないようですので、教育芸術社に決定をいたします。</p> <p>次に、音楽科器楽合奏について選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>音楽科器楽合奏の報告をさせていただきます。</p> <p>調査研究の中では、写真、挿絵、記号、図等の分かりやすさなどを中心に協議をいたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、教育出版は、多様な楽器の組合せによるアンサンブル活動が掲載されており、基本的な奏法を生かして他者と協働して表現することを通して、主体的、対話的な学びが展開できるよう配慮されておりました。</p> <p>教育芸術社は、巻頭などに配置されている専門家や各方面で活躍する人からのメッセージを読むことによって、自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう配慮されておりました。</p> <p>以上でございます。</p>

藤岡教育長	<p>では、これより質疑に入ります。</p> <p>音楽科器楽合奏についてご意見、ご質問はありますでしょうか。</p> <p>では、各委員からのご意見の報告をお願いいたします。</p> <p>藤原委員。</p>
藤原委員	<p>私は、結論としては教育芸術社なのかなというふうに考えます。</p> <p>この2社は非常に迷うとといいますか、甲乙つけ難かったんですけども、中学校とといいますと、結構、小学校の間は習い事で楽器を習っている子供ってたくさんいると思うんですね。その子らがだんだん小学校の高学年ぐらいから、いろいろ塾だ何だと忙しくなってやめていってしまうと。中学になると、どんどんさらにやめてしまう子と続ける子が如実に分かれる局面だと思うんです。</p> <p>そうしたときに、楽器に対する親しみというものを続ける続けないにかかわらず、維持していただきたいという観点から考えたときに、いろんな種類の楽器を当然教科書などで紹介するわけですけども、そこからすぐに練習に入れる、音楽室にあったらすぐにそれに触れてみるような誘導をしているのが、教育芸術社のほうがよりあるのかなというふうに考えて、教育芸術社を推薦する次第です。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、長岡委員。</p>
長岡委員	<p>私も教育芸術社を推薦したいと思います。</p> <p>迷ったんですが、この内容から表現する楽しさが伝わってくるというのが、その理由です。いろんな興味や関心があると思うんですけども、それを引き出して、好奇心に働きかけていくような、そういった内容になっているのではないかなというふうに感じました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、側垣委員。</p>
側垣委員	<p>私も教育芸術社を選びました。</p> <p>私自身も音楽が大好きで、楽器も演奏しますし、いろんなオーケストラに入っていた経験もあります。そういう目から見ると、器楽という教科書には非常に</p>

藤岡教育長	<p>すっきりしていて分かりやすい。そして、それぞれの楽器の持つ特性というのがイメージしやすいんじゃないかなというふうに思いますし、実際に演奏している写真がいいですね。非常に適切に使用されていますし、説明も上手にされているなというふうに感じましたので、教育芸術社を選ばせていただきました。</p>
山本委員	<p>ありがとうございます。 続いて、山本委員。</p>
藤岡教育長	<p>私も教育芸術社です。 内容というか、書かれていることはほとんど同じだと私には見えたんですが、そうすると、あとはもう説明。比べたときにどっちのほうの方が分かりやすいかと考えたときに、教育芸術社のほうだと思いました。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。 では、最後に私からですが、私も教育芸術社を推薦したいと思います。 音楽科一般とも共通いたしますが、各ページに目標を記載されるなど大変分かりやすいレイアウトになっていると考えておりますし、運指などもとても分かりやすく配置して、器楽でまさに必要な奏法、体の使い方などの技能が確実に身につくような工夫がなされていると思っております。 では、以上の結果から音楽科器楽合奏につきましては、教育芸術社を採択するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、ご異議がないようですので、教育芸術社に決定をいたします。 続きまして、美術科の教科用図書採択について審議を始めます。 選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>美術科の報告をさせていただきます。 他教科との連携の工夫や写真や図等の分かりやすさについての工夫などを協議いたしました。 各発行者の特徴ですが、開隆堂出版は、制作の手順、材料、用具の使い方、技法の手だてなどは生徒が理解しやすい視点から撮影し、鮮明でかつ意図が明確なも</p>

	<p>のが掲載されておりました。また、1年の巻頭で小学校図画工作与中学校美術の違いに触れ、2、3年の巻末では、美術と私と社会として美術を人生に生かすことについて触れ、系統性が意識されていました。</p> <p>光村図書は、鑑賞図版を大きくダイナミックに掲載し、「風神・雷神像」では、現行版の紙面の写真を変更し、より鑑賞に適した下界を見下ろしている陰影のあるドラマチックな写真を採用しておりました。また、表現と鑑賞の相互関連を意識しており、1つの題材で一体的に学ぶことができる構成となっております。</p> <p>日本文教出版は、作品が大きく掲載されていることはもちろん、活動の情景が多く掲載され、活動の入口から出口まで、全ての場面の学びを示すようなレイアウトになっておりました。また、授業と学びのポイントが可視化され、指導と評価の一体化を図る工夫がありました。学びと生活や社会との関連が意識できる題材が取り上げられています。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>では、これより質疑に入ります。</p> <p>美術科について何かご質問等がございますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、各委員からご意見をちょうだいしたいと思います。</p> <p>長岡委員。</p>
長岡委員	<p>私は、光村図書を推薦したいと思います。</p> <p>その理由は、どちらもそうなんですけれども、同年代の生徒の作品を取り上げて、絵を描くこととか作品を制作することが苦手な生徒にとっても、アイデアが出しやすい、取り組みやすいそういった工夫がよりされているのではないかなというふうに思いました。</p> <p>それから、こちらは特に図版がダイナミックで迫力が非常にあって、実物を見てみたいというふうなことを感じさせるほど、美術に関する興味、関心をさらに深めて、高めていくようなそういった工夫がなされているという点で、こちらがよいというふうに思いました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、側垣委員。</p>
側垣委員	<p>私も光村を選びました。</p>

	<p>前回の選考のときと大分変わったのかなというふうに思います。今、長岡委員おっしゃいましたけれども、様々な図版であったり写真であったりが、結構迫力のある構成にされていますし、とてもきれいなんですね。ですから、楽しみながら授業に取り組めるなというふうに思いましたし、同じ中学生の作品がたくさん掲載されていた。これだったら私もできるんじゃないかなという気持ちにさせてくれるような、主体的に取り組めるような取組が紙面づくりにされているなというふうに思いました。</p> <p>それと、これはデジタルコンテンツなんですが、かなり豊富なデジタルコンテンツを準備していただいて、生徒が興味を持ったときにそういうものを鑑賞できるように、あるいは調べられるような構成をされていますので、光村がいいと思いました。</p>
藤岡教育長	では、山本委員。
山本委員	<p>私も光村です。</p> <p>先ほどもアート思考の話をしました。そのことと関係する観点で見ました。光村が一番、感じるアートということを重視しているように思います。特に1年生の12から13ページにある絵や彫刻の世界というところを見てみると、その辺の考え方が端的に表れているというふうに思います。</p> <p>それから一方で、基礎、基本ともいうような技法を学ぶような資料もちゃんとつけてきているという、そういう点からもきっちりされているような点も併せて評価しました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	では、続いて藤原委員。
藤原委員	<p>私は、日本文教出版がふさわしいかなというふうに考えました。</p> <p>小学校までの図工というのは、非常に人気科目らしいんですが、中学に入ると、美術というのは急に人気なくなる、その落差が一番激しい科目であるという何か統計が出ているそうです。なぜそんなことになるのかというところ、自由に表現しなさいと言われることについて子供たちが非常に抵抗というか、じゃ、どうしたらいいんだというところに疑問を感じるということがあっているそうです。</p> <p>一方で、美術というのは何のために学ぶものかという、自分を表現する手段を</p>

	<p>獲得するということに意味があるのかなというふうに考える次第です。技法とか鑑賞とかというのは、あくまでそれを実現するためという位置づけというふうに理解しております。そうしたときに、自己表現する手段という観点から、技法も鑑賞も捉えているのは、日本文教出版が一番その趣旨に沿っているのかなというふうに考えました。一方、じゃ技法のことはどうなるのかというときに、日本文教出版が一番動画において技法の説明が充実しているというふうに私は捉えました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、最後に私からですが、私は光村を推薦したいと思います。</p> <p>美術におきましては、学習指導要領の目標にあるとおり、表現及び鑑賞を通じて美術、文化に関わる資質、能力を育成することとなっておりますが、鑑賞における視点を示すことで表現方法の工夫を、また、みんなの工夫というページを設けて、表現の意図や工夫について考えて、豊かな発想や美術に対する見方を深めるというようなことができるように工夫がなされていると考えております。</p> <p>では、以上の結果から、美術科については光村が多数ということでございますので、光村を採択するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、ご異議ないようですので、光村に決定をいたします。</p> <p>次に、保健体育科の教科用図書採択について審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>保健体育科の報告をさせていただきます。</p> <p>教材の配列や性に関することを中心に議論いたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、保健分野、体育分野の順に学年ごとに学習する順番で配列されております。異性など、ほかの人への関心の高まりとして性的関心の高まりが触れられるとともに、章末資料として性の多様性に触れております。また、性情報への対処として、自身の住所や画像を送ってしまった場合の対処について話し合う活動が設定されています。</p> <p>大日本図書は、体育分野を先に配列しています。異性や自分の体のことが気にな</p>

	<p>るとして、性への関心の高まりについて触れられるとともに、トピックスにて社会によってつくり上げられた男性像、女性像による男性らしさ、女性らしさの強要ではなく、性別に関わりなくその個性と能力を大切にできるよう取り扱っています。また、性情報との向き合い方について、責任ある行動としてインターネット上のトラブルに巻き込まれないよう投げかけています。</p> <p>大修館は、体育分野を先に配列しています。異性の関心などとして性への関心が触れられるとともに、特集資料として、性についての固定的な考え方や性的マイノリティーに触れ、性の多様性を取り扱っています。性情報への対処として、自画撮り被害が取り上げられていました。</p> <p>学研は、体育分野を先に配列しています。異性への関心や特定の人と親しく交際したいといった、友情とは違う感情の芽生えを性意識の変化として触れられるとともに、「探究しようよ！」では、性の多様性としてLGBTやSOGIが取り上げられています。性情報への対処と行動として、自画撮り被害やSNSによる被害を防ぐ対処について考える活動が設定されています。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>これより質疑に入ります。</p> <p>保健体育科について何かご質問等がありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、各委員からのご意見をお願いいたします。</p> <p>側垣委員。</p>
側垣委員	<p>迷ったんですが、保健体育については東京書籍を選びました。</p> <p>今、報告にもありましたように、様々な多様性に対応できるような、あるいは現在、子供たちが抱えている課題に対応できるような取組がなされているというふうに思いましたし、子供たちの話合いの中で様々な意見が出され、そして、詳しい理解ができるような、そういうふうな紙面構成にされていると思いました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、続きまして山本委員。</p>
山本委員	<p>私も迷ったんですが、東京書籍です。</p> <p>内容的にはどの教科書も扱っているものは、ほぼ同じような内容だと思いました。</p>

藤岡教育長	<p>自らの成長ということで、成長期だけではなくて、人が老いていくというようなことを書いている教科書はないのかと思って見たんですが、そういう教科書はなかったと思います。</p> <p>そうなるポイントは見やすさ、使いやすさということです。東京書籍は見開きで、見つけて、学習課題発見、それから解決、活用する、広げるという、1時間の構成が非常に分かりやすく、使いやすいものになっていると思いましたので、東京書籍ということです。</p>
藤原委員	<p>では、続いて藤原委員。</p> <p>私は、学研さんがふさわしいかなというふうに考えました。</p> <p>それぞれの単元から具体的にそれを生活の中、健康で安全な生活を送るために何をしていけばよいのかというところに、この学習をつなげていかなければいけないわけですが、その各単元における活かし方のところで、何をしたらいいのかというのが、次につながり方が分かりやすくまとめられていたということがあります。</p> <p>あと、各論の話として、個人的に関心の深い喫煙の問題と性感染症の問題について考えたときに、喫煙の問題で、さすがにもうたばこは二十歳から、つまり二十歳になったら吸っていいですよという視点で書いている会社さんは一つもありませんでしたけれども、もっと、一生手を出してはいけないものという視点で書いてほしかったなということがあるのと、あと、最近増えている加熱式たばこに関する言及が、東京書籍さんは見当たらなかったのがあります。書かれていたらごめんなさい。あと、周りの人への影響への強調というのがちょっと弱かったなというふうに思います。</p> <p>次に、性感染症なんですけれども、若者への危機意識を各社さん非常にあおっており、それは大切なことだと思うんですけれども、原因として、性的接触を避けることというのは皆さん書かれているんですけれども、不特定多数との性的接触のリスクを指摘しているのが、実は限られた会社さんだけだということと、感染はこの性感染症というのは連鎖していくことが怖いんだということを書いているのが、大日本図書と学研さんだったのかなというふうに考えます。</p> <p>といった視点から、総合的に考えたときに学研がふさわしいというふうに考えました。</p> <p>以上です。</p>

藤岡教育長	では、長岡委員。
長岡委員	<p>私は、東京書籍を推薦したいと思います。</p> <p>理由は、紙面の構成が、学習のプロセスが非常に分かりやすい構成になっているという点が一つです。それから、生涯スポーツについてなかなか理解しにくいところがあるんですけども、その点において、記述が具体的で内容が理解しやすい。例えば、運動・スポーツへの関わり方として学校の運動会を想定すると、あなただったらどういう関わり方をされますかというような、非常に具体的で生徒がイメージしやすいところがよかったと思います。</p> <p>それから、最後のスキルブックで命とか健康を守る、そういったスキルが身につくような、そういった工夫がある点も選んだ理由です。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、最後に私からですが、私も東京書籍を推薦したいと思っております。</p> <p>皆さんご指摘の点ですが、社会科でもそうでしたが、見開き1ページでまとまっているということで、生徒にとって個人の学びのプロセス、流れが分かるように工夫されているということは大変いいことだなと思います。</p> <p>またあと、活用するとか広げるという欄に記載されていることを基に、学習指導要領の目標にあるまさに運動や健康についての自他の課題を発見して、合理的な解決に向けて思考、判断できるということが、円滑にできるよう工夫されている。</p> <p>先ほど長岡委員のご指摘があったことになりましたが、また、保健体育の目標でもある、生涯を通じて心身の健康を保持増進するということにつきましても、章末資料などで豊富な資料を載せることで、子供たちが着実にそれを身につけることができるように工夫をされていると、こういうことは評価すべきであるというふうに考えております。</p> <p>では、以上の結果から、保健体育科につきましても、東京書籍が多数ということでございますので、東京書籍を採択するということによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	では、ご異議がないようですので、東京書籍に決定をいたします。

義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>続いて、技術・家庭科について教科用図書採択につきまして審議を始めます。 まず、技術分野について、選定委員会の説明をお願いいたします。</p> <p>技術科の報告をさせていただきます。</p> <p>技術科の教科書では、単元の適切さを中心に、学習を見通したり振り返ったりするための工夫などが話題となりました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、製作における基礎的な技能の記述は、「TECH Lab」という項目にまとめられ、参照しやすい工夫がありました。また、問題解決への手順が分かりやすく示されていたり、各節で学習した内容についての問かけがなされており、振り返りや学習の深化をしやすくしたりする工夫がありました。</p> <p>教育図書は、製作における基礎的な技能の記述は、別冊「スキルアシスト」にまとめられています。また、各章の終わりには小テスト風のまとめが用意されていたり、めあてに沿ってうまくいったところやうまくいかなかったところをまとめたりする場面設定がされておりました。</p> <p>開隆堂出版は、主体的に作業を進めることができるよう作業手順を表す写真や図が見やすく提示されています。製作における基礎的な機能については、別項目に整理されていたり、課題解決の基準が題材例ごとに3段階のステップで示されていたりしました。また、各節の最後のページの下に「CHECK」があり、学習者にとって振り返りがしやすい工夫がありました。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>では、これより質疑に入ります。</p> <p>技術分野についてご質問等はございますでしょうか。</p> <p>では、なければ各委員からのご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>山本委員。</p>
山本委員	<p>私は結論から言いますと、開隆堂です。</p> <p>内容的な部分は、各教科書が扱っているものはそんなに変わっていないと思います。開隆堂のほうが見開きで見やすさをすごく意識していると思いました。</p> <p>東京書籍は、その辺りがすごく上手なはずなのに、記述に関しては何かごちゃごちゃしている感じを受けました。ガイダンスの説明も開隆堂はシンプルで、他の教科書よりも一番分かりやすかったです。そういうことから開隆堂にしました。</p>

藤岡教育長	では、藤原委員。
藤原委員	私も結論としては、開隆堂さんがふさわしいというふうに考えます。 今、山本委員からご指摘のあったとおり、見開き1ページで1つのテーマという点もさることながら、それぞれの見開きの冒頭に学習課題、もしくは目当てといったようにそのテーマが書かれているんですけども、最も開隆堂さんが具体的といたしますか、何をこのページの獲得目標にするのかということが分かりやすかったです。ほかの2社さんは、若干抽象的なのかなというふうに思った次第です。 以上です。
藤岡教育長	では、続いて長岡委員。
長岡委員	私も開隆堂を推薦したいと思います。 先ほどもご指摘あったように、何を学ぶのかという目的を、身の回りにあるものと技術との関わりの中で理解して、興味を持たせている。そういう点で、工夫がなされているのではないかなというふうに感じました。 以上です。
藤岡教育長	では、側垣委員。
側垣委員	私も開隆堂を選びました。 各委員おっしゃったように、各見開きのページの中に目標や学習課題というのがはっきり分かりやすく具体的に示されているし、そして、やってみようという項目の中で、ほかの人たちとの協力の中で体験的に活動していけるような、そういうふうな工夫もされていて、大変面白いなというふうに思いました。 それから、実習の中で問題発見や設計、製作、評価、改善というものが、きちっと系統立てて書かれておって、問題解決的な学習がしやすいという、先ほど解説にもありましたけれども、そういうふうな紙面構成になっていると思います。そこがいいなと思ひまして、開隆堂を選びました。
藤岡教育長	では、最後に私からでございますが、私も開隆堂を推薦したいと思います。 皆様のご意見ありましたとおり、見開きで冒頭に学習の目標、続いて学習課題、

	<p>具体的な学習内容に続いてチェックポイントと、学習の見通しが生徒にとって立てやすいということと、あと、やはり学習指導要領にあるとおり、生活や社会の中から技術に関わる問題を通して課題を設定して、解決策を構想するというこの目標がスムーズに実現できるように工夫をされているというところがいいなど、またあと、文章と図のバランスが非常に取れていて、技術に関しての基礎的な知識の理解、技能を身につけることが円滑にできるように工夫がされているというふうに感じております。</p> <p>では、以上のことから、技術分野については開隆堂を採択するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、ご異議がないようですので、開隆堂に決定をいたします。</p> <p>次に、家庭分野について選定委員会のご説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>家庭科の報告をさせていただきます。</p> <p>家庭科の教科書では、写真、挿絵、記号、図等の分かりやすさや学習を見通したり、振り返ったりするための工夫が話題となりました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、6つの食品群が折り込み1ページでまとめられており、幼児の世界として、実物大の写真で幼児の体を視覚的に捉えられる工夫がありました。また、単元ごとに振り返りシートがあり、振り返りでは3段階で自己評価するとともに、生活に生かしたいこと、大切にしたいことを記述できるようになっておりました。</p> <p>教育図書は、折り込み見開きページに実物大の写真で6つの食品群が例示されており、重要語句については青太文字で記されておりました。また、毎時間の目当てやキーワードが最初にまとめられていて、見通しを持って学び、振り返りがしやすいような工夫がされておりました。</p> <p>開隆堂出版は、調理の実習手順図が見開きページで横に流れる記載となっており、実物大の写真により6つの食品群が折り込みページで例示されておりました。また、学習の目標が明記されており、生徒はどのようなことを目標としている学習なのかを理解して、学習の見通しを持つことができるような工夫がありました。</p> <p>以上でございます。</p>

藤岡教育長	<p>では、これより質疑に入ります。</p> <p>家庭分野についてご意見、ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>では、各委員からのご意見をお願いいたします。</p> <p>藤原委員からですね。</p>
藤原委員	<p>私は結論としては、開隆堂さんかなという感じでございます。</p> <p>家庭科というのは、学校で習ったことがすぐにダイレクトに役立つ、科目ということなので、家でやってみようというところに導いてくれるかどうかというのが、まずポイントであると考えます。</p> <p>そうしたときに、多いのは料理だと思うんですけども、レシピの調理過程の写真も充実しているのが開隆堂さんでした。完成図だけではなくて、調理過程も載せている。あと、1品つくるだけならレシピを見れば、大体みんなできるわけですけども、1食完成させるとなると、そこに計画なりマネジメントが必要になってくるわけですね。その最たるものが弁当なんですけれども、その弁当の作り方も非常に分かりやすく実践的に書いてくださっていると思います。</p> <p>あと、幼児に関する記述が充実していました。中学生、最近は小さい子と触れ合う機会がどんどん減っていると思います。そうしたときに、中学生と交流している写真が開隆堂さんは充実していて、その点は非常によいのかなと考えました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、続いて長岡委員。</p>
長岡委員	<p>私も開隆堂を推薦したいと思います。</p> <p>同じく調理の工程がとても分かりやすく、写真も掲載されていて分かりやすいというのと、それから、防災にも関連づけて、その際の簡単にできる調理法とか、そういうのも非常に役に立つなど、本当に学んだことがそのまま生活に生かせるというか、ほかもそうなんですけど、より見やすい構成になっているというふうに感じました。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、続いて側垣委員。</p>
側垣委員	<p>私も開隆堂です。</p>

	<p>その理由は、教科書が見やすいというか学びやすいというか、今、前の委員おっしゃいましたけれども、例えば調理の手順が非常に分かりやすく示されているなということと、章構成というんですか、単元の構成が、まず家族、家庭生活が来て、これは教育図書も一緒なんですけど、そして衣食住から消費生活、環境というふうな形で流れていく。東京書籍の場合は、一番最後に家庭生活が来ているんですね。ちょっと何でかなというふうな感じを受けました。開隆堂さんはそのところで、やはり子供たち、小さな子供たちとの生活との関連であったり、ここでも子供たちの権利というか、子どもの権利条約にうたわれた子供の4つの権利だったり、そういうことが詳しく書かれていました。</p> <p>ですから、やはり一番ベースの、子供たちのベースの生活からそこから入っていて、そして、その中で衣食住、生活というふうな、そういう単元の進め方が非常に適切であったり、図録が見やすいであったりということ、この開隆堂さんを選びました。</p>
藤岡教育長	山本委員。
山本委員	<p>私も結論から言いますと、開隆堂です。</p> <p>動画はどの教科書も充実していると思いました。動画ではなくて、教科書の写真とか図、それを見たときに一番鮮明なのは開隆堂でした。それから、先ほど言ったシンプルで見やすい、分かりやすいということ、いっても開隆堂だったと思います。</p> <p>東京書籍は、技術のほうと比べると、何か作り方が共通ではないような感じがしました。ウォーミングアップという形で1から4まで書かれて、それでまたガイドダンスに入っていく、そこまですごく長い。もっと簡潔に分かりやすく入ったらと感じました。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、最後に私から、開隆堂を推薦したいと思います。</p> <p>開隆堂は衣食住、環境などにつきましても豊富なイラスト、写真、グラフなどのデータを用いて、大変分かりやすく工夫されていまして、まさに家庭分野で習得すべき基礎的な理解といったものが、どの生徒にも習得できるように工夫されているというふうに感じております。</p> <p>また、学習課題の設定といたしましては、まさにこの生活の中の問題を見いだし</p>

藤岡教育長	<p>て課題を設定するという学習指導要領の趣旨、目的に沿うような形で課題を設定されているというところが大変工夫されているというふうに思っております。</p> <p>では、家庭分野につきましては、開隆堂を採択するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、ご異議がないようですので、開隆堂に決定をいたします。</p> <p>次に、外国語の教科用図書採択について審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>外国語科の報告をさせていただきます。</p> <p>教材の配列として、小中の接続や単元の適切さ、表記、表現の分かりやすさ、言語活動の充実によるコミュニケーション能力の育成について議論いたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、「Real Life English」において、実生活に即した場面設定で英語を学ぶ機会が設定されており、目的、場面、状況に合わせたコミュニケーションを伸ばすような工夫がありました。巻末の「Small Talk」では、Unit のトピックに関連した質問に即興で応答する練習ができる工夫がありました。</p> <p>開隆堂出版は、言い換えやつなぎ言葉を紹介する欄が掲載されているなど、即興でコミュニケーションを図ることができる能力を育む場面も取り入れられていたり、「Our Project」として、マッピングなどを用いて思考を整理しながら表現活動が行えたりするような工夫がなされていました。</p> <p>三省堂は、各トピックが「Small Talk」で始まることで、Speaking 活動の充実化を図ることができるような工夫がありました。また、「Think about yourself」の質問では、各 Part で学習した表現を使い、自分自身の立場になって意見を述べるような工夫がされておりました。</p> <p>教育出版は、既習の文法を用いた質問や応答をペアで行うことができる「Activities Plus」のページにおいて、活発に活動が行えるよう「Word Bank」が設けられておりました。また、Reading、Listening、Writing、Speaking の4領域の活動を行う上でのコツを学習するため、「Tips for～ing」のページが設けられており、分かりやすく解説されておりました。</p> <p>光村図書は、帯教材としての「Story Retelling」用の各 Unit のイラストや、自</p>

	<p>己表現に役立つ「Active Words」があり、言語活動に役立てることができる工夫がありました。また、各 Part の「Speak」や「Write」の随所に吹き出しが設けられており、自己表現の際のコツが明記されておりました。</p> <p>啓林館は、各単元末の活動である「Think & Speak」、「Write」や「Project」で既習事項を生かして総合的な言語活動に取り組む際には、マッピングや表で思考を整理しやすいように工夫されておりました。また、「Tool Box」や自己表現に役立つ語句や表現が提示されており、言語活動の補助に活用できる工夫がありました。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>では、これより質疑に入ります。</p> <p>外国語についてご意見、ご質問はございますでしょうか。</p> <p>では、なければ各委員からのご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>長岡委員。</p>
長岡委員	<p>私は三省堂を推薦したいと思います。</p> <p>理由は、各トピックで言語活動としての Small Talk から始まって、話す力を少しずつ伸ばしていく、そういった工夫がなされているというふうに思います。西宮の英語教育は実際に授業の冒頭、積極的にこの Small Talk を取り入れているというふうに聞いていますので、その授業形態にもとてもマッチしているのではないかなというふうに思います。</p> <p>それから、ゴールが設定されていることによって、学習の改善点や課題が明確に生徒にとっても把握しやすいという点において、三省堂がいいというふうに思います。</p> <p>以上です。</p>
藤岡教育長	<p>では、続いて側垣委員。</p>
側垣委員	<p>私、今回、英語の教科書をずっと読ませて、見せていただいて、いや本当に英語の教育は変わったんだなと。私が初めて英語に触れたのは12歳、中学1年生ですから、考えてみれば今から60年前になります。その頃からこういう英語の勉強をしていたら、本当に英語が好きになったんじゃないかなという感想です。</p> <p>その中で、全社のをちょっと見せていただいて、やはり私も三省堂のがいいんじゃないかなというふうに思います。</p>

	<p>先ほど、長岡委員もおっしゃいましたが、Small Talk という分野で短い簡単な言葉でスピーキング、応答をやり取りして、それをだんだん積み重ねていくという、一番英語の基本的なところ、日常生活に結びつく一番基本的な部分かなというふうに思いますし、そのことによって英語の楽しさやそういうものに触れていく、そこから主体的に英語に触れていくという、そこから興味が湧いて、いろんな学習活動に伝わっていく。まずは、コミュニケーションから始まるというところが、すばらしいなというふうに思います。</p> <p>それから、最終的に目標を決めて、そしてそれを振り返るというふうな作業が行えるような教科書の構成になっているので、私は三省堂を選びました。</p>
藤岡教育長	では、続いて山本委員。
山本委員	<p>私も三省堂です。</p> <p>英語に関していいますと、生徒が教材に親しめるとか、それから、特にデジタルコンテンツについては、かなり大きいという気がします。三省堂の教材は、生徒にとって親しみやすい教材が多いと感じました。デジタルコンテンツに関しては、各社とも本当に充実してきていると思います。三省堂のものでいくと、特に本文テキストのほかに、その前とか後に本文以外の言葉がどんどん入っていて、それが使えるようになっている。そういうところは、大変工夫されていて、面白いと思いました。</p> <p>単元構成でいくと、先ほど長岡委員のほうからありましたけれども、Goal Activity というものが設定されていますので、それに向かって段階的に自覚的に生徒が学習を進めることができるという点で、いいなというふうに思いました。</p> <p>それからあとひとつ、プロジェクト学習の内容が面白い。適度な抵抗感というか、難易度があって、知っているものを総合的に使ってつくっていく、その適度さが非常に面白いというふうに思いました。</p>
藤岡教育長	では、藤原委員お願いいたします。
藤原委員	<p>私も三省堂の教科書がいいのかなというふうに考えます。</p> <p>先ほどご指摘ありましたとおり、西宮市では英語を使って英語を教えると、英語を話すことが楽しいというような授業を積極的に取り入れる、もう歴史があるところでもあります。そのために一番親和性のある教科書はどこなのかという</p>

	<p>と、やはり Small Talk というのを重視している三省堂さんなのかなというふうに思います。</p> <p>昨今、翻訳自体はもうネット上でかなり高度なものができるようになってしまっ たんですけども、やはりそうであればこそ、なおのこと話すということが重要に なっていて、さらに、英会話ができると格好いいという価値観を中学生は持つよ うになるようなので、そこを伸ばしていけたらというふうに考えています。</p> <p>あわせて、先ほど山本委員からご指摘のあった動画教材のほうなんですけれども、 多くの会社さんが本文の音読を載せておられるのに対して、光村と三省堂がそこ には必ずしも書いていない、例えばイラストから膨らませた内容とかが書かれて いたりしましたので、より深い学習が可能なのかなというふうに考えた次第です。 以上です。</p> <p>藤岡教育長</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、私、最後ですが、私も三省堂がふさわしいというふうに考えております。 理由といたしましては、再三、皆さんからご意見いただいているとおり、本当に Small Talk という、いわゆる導入部分があって、話すこと、聞くこと、今までの 英語教育でややもするとちょっと弱かったというところについての英語活用場面 がきちっと設定できるような工夫がなされていて、西宮の英語教育にもマッチし ているかと考えております。</p> <p>また、内容といたしましても、具体的な場面を設定して、日常的な会話、または それ以外の平和など、社会的な話題などについて外国語でコミュニケーションす るという力を養うような工夫がなされていると。また、日常的な場面、外国語を 用いる必要がある場面、日本の文化を取り上げたりして、学習指導要領にあるま さに主体的に外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を養うとい うことが、スムーズにできるように工夫がなされているというふうに感じており ます。</p> <p>では、皆様のご意見から、外国語につきましては三省堂を採択するということで よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、ご異議ないようですので、三省堂に決定をいたします。 次に、特別の教科道德の教科用図書採択について審議を始めます。</p>

義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長	<p>選定委員会の説明をお願いします。</p> <p>特別の教科道徳の報告をさせていただきます。</p> <p>教科目標から見た編集の適切さや、問題解決的な学習や課題発見ができる教材の工夫などについて議論しました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、「つぶやき」という欄が設けられ、学習過程における自発的な考えの記述を促す工夫がありました。視覚的な情報が豊富で、デザインも洗練されています。</p> <p>教育出版は、「学びの道しるべ」として、全ての教材が3つの発問で構成されており、体験ロールプレイや「やってみよう」という活動が、豊富に設定されています。</p> <p>光村図書は、答えは1つではないということがコンセプトになっており、いろいろな視点から考えられるような問いかけや発問により、多面的、多角的に捉える工夫がありました。</p> <p>日本文教出版は、「深めよう」では、ロールプレイングから思考ツールを活用して、その話し合い活動を促進させるというような活動が設けられています。別冊の「道徳ノート」では発問が空白になっており、課題発見につなげる工夫がありました。</p> <p>学研は、内容項目に「命の貴さ」、「生命の貴さ」が各学年に3教材ずつ用意されており、命を最重要テーマとして取り扱っています。「見つけよう」、「考えよう」、「話し合おう」、「生き方につなげよう」という4つのステップにより、段階的に考えを深め、広げていくことができるよう工夫されていました。</p> <p>あかつき教育図書は、各学年3つの教材に「マイ・プラス」が設けられ、ロールプレイや体験的な学習、問題解決的な学習など多様な学習活動が設けられています。自分との対話が設定されており、最終的にはその発問内容を自分自身で振り返って考える工夫がありました。</p> <p>日本教科書は、冒頭に4コマ漫画が設定されており、教材のテーマに向かえるよう生徒の問いを促し、学習に入りやすくする工夫がありました。巻末付録にウェルビーイングカードがあり、自分の感じたことや気づいたことを可視化できる工夫がありました。</p> <p>以上でございます。</p>
藤岡教育長	<p>では、今のご説明について何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。</p>

側垣委員	<p>では、各委員からのご意見をいただきたいと思います。 側垣委員からですね。</p> <p>私は、光村を選ばせていただきました。 一つはやはり、冒頭から、初めに1年間を通してどういうふうに学びの見通し、目的を持って学ぶのかということが示されています。そして、その中でテーマごとに教材が決められているということもそうです。 それから、先ほどの報告の中にもありましたけれども、答えは一つじゃないんだというふうな視点を持って様々な意見、様々な考え方を尊重する、人権に対する感性を育むという部分を大切にされているということ。 それから、やはり全体を通しての紙面の構成が、緩やかで優しいというふうなイメージを受けました。そういう意味からも、子供たちが落ち着いて道徳について考えていくというふうな教科書づくりになっているのかなというふうに思いましたので、光村を選ばせていただきました。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。 では、続いて山本委員をお願いします。</p>
山本委員	<p>迷いましたが、結論から言いますと、東京書籍です。 議論する道徳とか考える道徳という説明もあったのですが、確かにそれが求められている。そうすると、その内容項目が題材名、題目のところに入っているような教材はちょっとどうかなというのはずっと言ってきました。今回の教科書では、題目、教材の始めに内容項目が載っている教科書は、ほとんどなくなってきたと思います。そういう点では、すごく変わってきたと思いました。 私が迷ったのは、学研と東京書籍だったんですけども、学研のユニット学習という発想は、面白いというふうに思いました。普通、道徳というのは1時間ずつで完結するんですが、関連する内容をつないで、ユニットということで重層的に考えていくという発想は、大変面白いというふうに思いました。実は、これは東京書籍でもしているんです。ユニット学習とは書いていないんですけども、いじめのない世界と命を考えるとというところで、教材を続けて考えてきている。そういう点では同じような発想を東京書籍さんもされています。 東京書籍に私がしたのは、新しいことにチャレンジされていると感じたからです。Plusのところにもいろんな内容とか、あるいは手法、そういうものが載ってい</p>

	<p>ます。1年生には、いじめの4層構造が登場してきている。同じように1年生のところに避難行動判定フローが登場してきている。それから、1年生から3年生まで共通して探究の対話であるp4cが載っている。こういうのは新しく、ちょっと学校が使いにくいところがあるという気はするんですが、あえてこういうことを入れてきたという、少しこれまでの道徳を変えてみようという、その辺りに面白さを感じたので東京書籍にしました。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。 では、続いて藤原委員。</p>
藤原委員	<p>私は、学研を推薦したいと思います。 道徳の教科書というのは、読み物として読んでいくというのが一つのあるべき使い方なのかな。授業とは別にそういうものとして読んでいくというのかなというふうに思います。 そうしたときに、それぞれの単元について誘導し過ぎず、かといって誘導がゼロではないというバランスを考えたときに、1行でその内容、テーマを表現している学研が、一番入りやすいのかなと考えました。 あとは、それぞれのお話のカテゴリをされているのは、皆さんされているんですけども、その分類の仕方が自己と他者という視点で、まさしく道徳において一番大切にされていて、カテゴリされているという点に着目をしました。 以上です。</p>
藤岡教育長	<p>ありがとうございます。 では、続きまして長岡委員お願いします。</p>
長岡委員	<p>私は、学研を推薦したいと思います。 生徒たち一人一人が課題を見つけて、自分にとっての答えをそれぞれが探す。そして、他者からの意見を聞きながら、またさらに自分の考えを修正したり深めたりするというような工夫が、よりしやすいのかなというふうに思いました。 それからもう一つ、学研の特徴的なことは、授業での気づきを書き留める部分が最後にあって、そのときの授業についてのメモが学びのメモ、それから学期の気づきのまとめが学びの記録、そして、1年を振り返って未来への扉というふうに、何度も自分の心の変容というか考え方を振り返る、それをしかも言語化して振り</p>

	<p>返る。あのときの自分はこんなことを考えていたんだなというようなことが、もう一目で分かるような、ひょっとしたら生徒にとってはつらい作業になる子もいるかもしれないんですが、そういったことをやっていけるところがとても特徴的だなと思いましたので、学研がふさわしいのではないかというふうに思いました。以上です。</p> <p>最後に私ですが、学研を推薦したいと思います。</p> <p>学研のものにつきましては、まさに道徳的諸価値の理解を基に、人間としての生き方について深めるというのが道徳の目標なわけですが、深めようというページで4段階で学びを深めていくということで、そういうより深まるような工夫がなされていたというのが学研の特長だと思っております。</p> <p>また、物事を広い視野から多面的、多角的に捉えると、考えるということが、もう一つの道徳の大事なところだと思いますが、掲載されている文章の内容をクローズアップという欄でそういった多角的に考えられるような工夫をされていると思っております。もちろんどの教科書もいろんな工夫はされているんですが、学研がより分かりやすいと思いました。</p> <p>以上から学研を推薦したいと思っております。</p> <p>では、特別の教科道徳については、意見が分かれましたが学研が多数ということですので、学研で採択するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、ご異議ないようですので、学研に決定をいたします。</p> <p>最後に、その他の教科書用図書採択についての審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。</p>
義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長	<p>特殊支援学級の児童生徒の教科書については、検定教科書（下学年の教科書を含む）や、文部科学省による著作本、いわゆる星印本を採用することをまず検討し、これらを使用することが難しい場合には、検定教科書などに代わる教科の主たる教材として、絵本などの一般図書を採用してもよいということになっています。</p> <p>ここからは、この一般図書に関する報告となります。</p> <p>特別支援学級用一般図書の調査報告につきましては、報告書の33から41ページに記載をしています。</p>

本市では、平成23年度より、文部科学省及び兵庫県教育委員会が示す一般図書のリストを基に西宮市版のリストを作成し、教育委員会に採択していただいています。

本年度の調査研究では、令和6年度一般図書契約予定一覧及び県教育委員会作成の調査研究資料を基にして協議をいたしました。

昨年度作成したリストから、令和6年度用の一般図書契約予定一覧に掲載されていない2冊を一覧から外すとともに、特別支援学級に在籍する個々の子供を想定し、教科、学年、障害種別における適性を判断したり、一般図書を使用してどのような学習が展開できるかを話し合ったりして、新たに4冊を追加し、合計189冊の図書を掲載しました。

33ページをご覧ください。

こちらに昨年度のリストから削除した図書と、追加した図書をまとめております。

33ページの上側の表に削除する2冊を掲載しております。

削除する理由については、令和6年度使用一般図書契約予定一覧に掲載がされていないこと、令和7年度使用図書として供給ができないことのためです。

次に、その下の表に記載しているリストに追加する4冊の図書について説明いたします。

表の一番左の番号で言いますと、No. 25の「100かいだてのいえシリーズ 100かいだてのいえ」は、1から100までの数について、ストーリーに沿って楽しみながら学習することができます。縦に開く装丁のため、数の増加のイメージもしやすくなっています。かわいらしいイラストとパターン化された展開でまとめられているため、イメージを広げやすいため追加いたしました。

No. 146の「福音館の科学シリーズ絵で見る日本の歴史」では、それぞれの時代風景について様々な場面により、1枚の絵としてまとめられております。場面ごとにその歴史事項についてイメージしながら学ぶこともできます。写実的なイラストで描かれていることもあり、実際の資料を想起しやすいため追加いたしました。

No. 184の「5さいからのプログラミングえほん」は、物語に沿ってプログラミング教材であるスクラッチ・ジュニアを操ることで、楽しく論理的思考について学ぶことができます。物語の内容が平易かつ絵本の形となっていることで、プログラミングの流れをイメージで捉えやすいため追加いたしました。

No. 187の「はじめての日本のれきしえほん」は、それぞれの時代風景や文化、暮らしなどについて分かりやすく絵を中心にまとめられており、歴史事項を

	<p>イメージしやすくなっています。児童生徒が取り組みやすいよう、かわいらしいイラストで書かれているため追加いたしました。</p> <p>これまで既に西宮版のリストに掲載されていた一般図書の中でも、他の教科や他学年、他の障害種別でも使用可能なものであるかどうかについても調査研究を進めましたが、今年度は特に変更はありませんでした。</p> <p>各学校で特別支援学級の個々の児童生徒が使用する一般図書を決める際は、担任を中心として管理職、保護者、特別支援教育課が連携を図り、検討を重ねて、西宮市版のリストの中から個々の子供の状況に合った、最も適切な教科用図書を選ぶこととなります。</p> <p>特別支援学級用一般図書の調査報告については、以上でございます。</p> <p>ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
藤岡教育長	<p>説明が終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>小学校、義務教育学校前期課程教科用図書、特別支援学級用一般図書について、ご意見、ご質問はございますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>では、選定委員会からの報告のとおり採択したいと思います。ご異議ございますでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
藤岡教育長	<p>では、ご異議ないようですので、報告のとおり採択いたします。</p> <p>以上で、議案第29号「令和7年度使用義務教育諸学校教科書用図書採択の件」の審議を終了いたします。</p> <p>以上で予定されていた議題は全て終了いたしました。</p> <p>では、これをもちまして第2回教育委員会臨時会を閉会いたします。</p> <p>(終了)</p>